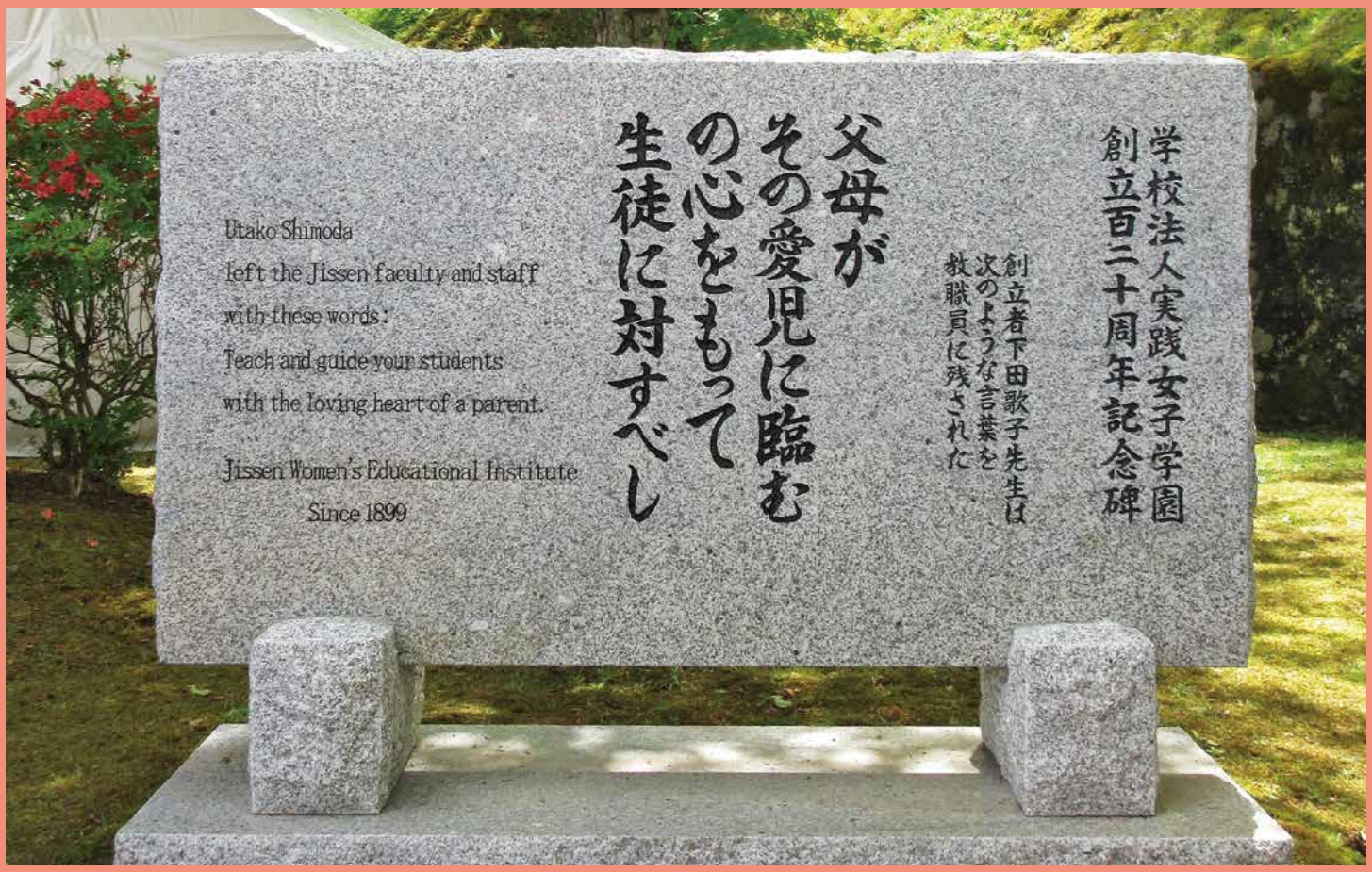
# なよたけ

情報版
2019.10.1
no.25



学園創立120周年記念碑（岩村）　令和元年5月7日除幕

## 実践桜会行事日程

**平成31年**

4/初旬　「那与竹」第82号発行

**令和元年**

5/7(火)　学園創立120周年記念式典(岩村)

5/11(土)　J－FES[実践女子学園フェスティバル]に参加(渋谷)
学園創立120周年記念祝賀会(渋谷)
ホームカミングデー(渋谷)

5/12(日)　J－FESに参加(渋谷)

5/19(日)　定時総会・懇親会
(於:セルリアンタワー東急ホテル)

6/15(土)　実践キャリアネット総会・講演会

8/9(金)~16(金)　実践桜会会館夏季休館

9/21(土)22(日)　実践桜会バザー
(於:中・高ときわ祭)

10/5(土)　秋季運営委員会(於:実践桜会会館)
実践桜会奨学生・国際交流基金奨学生交流会

10/初旬　「なよたけ情報版」第25号発行

10/8(火)　学祖祭(於:実践桜会会館)

10/12(土)13(日)　大学・短期大学部「常磐祭」(渋谷)
桜会賞授与

11/9(土)10(日)　大学・短期大学部「常磐祭」(日野)
桜会賞授与

11/16(土)　実践キャリアネット第1回セミナー開催

12/27(金)~1/5(日)　実践桜会会館冬季休館

**令和2年**

1/12(日)　初春歌舞伎観劇会(於:国立劇場)

1/13(月)　祝・成人の会(於:桃夭館)

1/18(土)　実践キャリアネット第2回セミナー開催

2/未定　実践キャリアネット卒業生と在校生の交流会(予定)

4/初旬　「那与竹」第83号発行

5/17(日)　定時総会・懇親会
(於:セルリアンタワー東急ホテル)

Message

# 「桜」とともに

実践女子学園理事長
山本 章正

実践女子学園の理事長に就任し、早くも半年が経ちました。5月7日に創立120周年を迎え、岐阜県恵那市岩村町で記念式典を、そして実践女子大学渋谷キャンパスで、記念祝賀会と実践女子学園フェスティバル（Ｊフェス）を開催いたしました。いずれの行事も清々しい天気に恵まれ、実践桜会からも、大変多くの皆様にご参加いただきました。下田先生の故郷・岩村と、学園発展の地・渋谷で、たくさんの卒業生の皆様とともに記念の日をお祝いできましたことを、心より嬉しく思っています。温かいご支援に、あらためて深く感謝申し上げます。

そして5月19日には、実践桜会の令和元年度定時総会が行われました。鈴掛理事長をはじめとした役員の皆様、各科会や全国の支部の皆様が一同に会する場にお招きいただき、学園と同窓会との結びつきをさらに深めることができました。定時総会後の懇親会にはこれまでも何度かお邪魔しておりますが、桜会の名のとおり、「桜」が咲き誇るような華やかな雰囲気の中、卒業生同士のつながりの強さと、学園への熱い思いを目の当たりにし、心を新たにする機会となっています。

さて、「桜」といえば、【花万朶（はなばんだ）】という言葉をご存知でしょうか？「桜」にまつわる日本語表現は多々あり、有名なものとしては、

【花明かり（はなあかり）】　花が咲き乱れて夜でもそのあたりが明るく感じられること。
【花筏（はないかだ）】　水面に散った花びらが連なって流れているのを筏に見立てた語。
【花霞（はながすみ）】　満開の桜の花が、遠目には霞がかかったように白く見えること。
【花曇り（はなぐもり）】　桜の花の咲くころの、薄くぼんやりと曇った空模様。
【花冷え（はなびえ）】　桜が咲くころの、一時的な冷え込み。

などがありますが、【花万朶（はなばんだ）】は私が特に好きな言葉の一つです。「万朶（ばんだ）」は、多くの花の枝や多くの花という意味で、満開の大木の桜に彩られた華やかな情景が思い浮かびます。実践という幹から枝を伸ばし、卒業生というたくさんの桜が見事に咲いている。「花万朶」は、まるで実践桜会を表す言葉のようだと、定時総会に参加するたびに感じています。

「桜」は、日本人にとっては春の象徴ともいえる花です。私も毎年、開花予報と天気予報を見比べながら、いまかいまかと開花を待ちわびる一人です。江戸時代の俳人・松尾芭蕉が吟じた俳句に、「さまざまの事おもひ出す桜哉（かな）」という一句がありますが、春の訪れとともに、ぱっと咲いてはかなく散りゆく「桜」の花に、人々は昔から、さまざまな思いを重ねてきました。私は会社員時代、退職して時間が出来たら、桜前線とともにゆっくり北上する旅をしてみたいと常々思っていました。例年1月下旬に開花を迎える沖縄を皮切りに、九州、四国、本州と桜前線は北上し、東京では3月下旬ごろに開花が発表されます。青森県や北海道では、4月下旬頃に開花し、ゴールデンウィークにかけて満開の「桜」を楽しむことができるということですので、日本全国で見ると、実に3か月もの間にわたって咲き続けているということになります。残念ながら、それだけの長旅にはまだしばらく出られそうにありませんが、いつかその日が来るまでに、「桜」の思い出をたくさん積み重ねていきたいと思っています。

学園では、4月初旬の入学式と「桜」の満開の時期が重なることが多く、新入生に渡される「桜」の校章の思い出とも相まって、卒業生の皆様にとって特別な存在の花であると思います。実践女子学園フェスティバルでは、来場された卒業生の皆様に、大学・短大の学生スタッフが企画したオリジナルポーチをプレゼントするという企画を実施しました。卒業生の方に喜んで使っていただけるようにと、学生たちが検討を重ね、「桜」をモチーフにした可憐なデザインのポーチを作り上げました。Ｊフェス2日間で6,300名の方が来場されましたが、そのうち618名の卒業生がこのポーチを受け取りに来てくださいました。心をこめて作った記念の品をお渡しする学生も、それを受け取る卒業生も笑顔が絶えず、「桜」を通した実践の絆がまた深まった瞬間となりました。

5月の創立記念行事を通して、本当に多くの卒業生とお話をする機会に恵まれ、実践女子学園の現状や未来へ向けて、たくさんの貴重なご意見を賜りました。学園はこの10年間で大きな変革を遂げてきましたが、これからの10年間でさらなる成長を目指してまいります。創立120周年を機に、これまでの伝統に加え、新たな実践女子学園を実感していただけるよう邁進していく所存です。実践桜会の皆様には、これまでと変わらぬご支援を、心よりお願い申し上げます。

（やまもと　あきまさ）

※「桜」にまつわる日本語表現の意味は、小学館『デジタル大辞泉』より引用



Message

# 脱日常への誘い

実践女子大学
実践女子大学短期大学部 副学長
難波 雅紀

われわれ研究者の間で釣りを趣味にしている人が意外と多いのをご存知だろうか。普段はおくびにもださないが、酒席になると、妙に釣りの話題で盛り上がることがよくある。かくいう私も、海釣りを始めてかれこれ30年近くになるだろうか。子供の頃に郷里の川でフナやハヤを釣ったことはあったが、そもそも釣りに興味など全くなかった。たまたま伊豆半島の下田を旅行した折、単なる暇つぶしに竿を手にしたのが運のつきだった。それからは、毎年、春夏秋冬、伊豆半島に繰り出すようになった。

海釣りと一口にいっても、釣法は千差万別だ。たとえば、小振りのアジやイワシを狙うには「さびき釣り」、沖目のイサキを釣るには「かご釣り」、クロダイやボラを釣るなら「ふかせ釣り」、キスを狙うなら「投げ釣り」というように、魚によって釣り方は様々だ。さらに、同じ魚を釣るのでも、人によって仕掛けや餌に微妙な違いがある。その違いは、釣り人の最高機密でもある。私が狙う魚は、関東ではメジナ、関西ではグレと呼ばれる典型的な「上もの」だ。釣り方は「ふかせ釣り」で、釣り場としては、小型を釣るには堤防周りも悪くはない。ただ、型狙いならば外海に突き出した地磯が恰好の場だ。そこまでは、大抵は道なき道を1、2時間かけて歩いていく。這々の体で辿り着く岬の先端こそがグレ釣りの戦場だ。釣り場に着くと潮目や潮の流れを見ながら釣り座を決め、せっせと誘い餌のコマセ作りを始める。

コマセを撒き始めると、小魚がまず姿を現わす。指の大きさほどの回遊魚で、やがて数百匹、恐らく数千匹と増えてくる。小魚が寄ってくるのはいい兆候だ。小魚よりも深い層を泳いでいる型のいい魚も、やがて食欲に負けて餌に食いついてくる時合が訪れるからだ。つけ餌のオキアミを餌取りの小魚に幾度となく献上しているうちに、新たに投げ入れた仕掛けのウキが静かに海中に没していく。勢いよく一気にウキを引き込むのは小魚のアタリだ。型のいいメジナ（ここでは親愛の意味から「奴」と呼ぶことにしよう）はいかにも上品だ。徐に用心深く餌を食い込んでいくから、早合わせは禁物だ。慌てて竿を立てたりすると、「奴」は食いかけの餌を惜しげもなく放し、知らん顔して泳ぎ去ってしまう。だから、ウキが見えなくなるまでは、とにかくじっと我慢することだ。そして、ウキが消えたのを見届けてから、竿をしゃくって一気に合わせるのだ。そこから状況は一転していく。「奴」の動きが竿を持った手にはっきりと伝わってくる。思いの外強い力だ。竿は満月にしなり、伸びきった糸は水を弾いて悲鳴をあげる。「奴」はなんとか針を外そうと、右へ左へと動きを変える。動きに逆らって竿を左右に振り替え、揉めて「奴」の力を弱らせなければならない。「奴」の引きがひときわ強くなった時は、やみくもに引き寄せてはだめだ。糸を送り出してやると、「奴」は足元深くに突進する。根擦れで糸が切れたら「奴」の勝ちだから、また竿をしゃくって糸を巻き、「奴」を引き寄せていく。こうした一進一退の緊迫したやり取りが何分、何十分と続く。そして、とうとう「奴」は浮き上がってくる。竿のしなりが弱まり、降参した「奴」の重さだけが竿を持つ手にのしかかってくる。最後の抵抗も空しく、「奴」は海面に横腹を見せる。こうして一戦が終了するのだ。

くっきりとした目と噤んだ小さな口はなんとも愛らしい。それでいて体高があって円みを帯びた姿は雄々しく、尾に向かって流れるきりっとした背ビレは精悍そのものだ。全体に碧味を帯びた色合いは、白州に揉まれる海を自在に泳ぐ勇壮なメジナにこそ相応しい。写真に撮り、急ぎ針を外すと、「奴」をまた海に戻してやる。弱ったからだで大丈夫だろうかと心配する必要はない。自由になった「奴」は、まるで何事もなかったかのように悠然と海中に消えていく。すると、また釣ってやるからなという想いが心に溢れてくる。もちろん、そんなことはあり得ないのだが、そういう思いを抱く時が、実は、私にはとても満ち足りた瞬間なのだ。

最近はなかなか忙しくなり、海釣りに出かける機会もめっきり減ってしまった。機会が減ったのは、物理的に時間がとれないせいもあるが、出かける気になかなかなれないからでもある。むしろ、その気になれないのが本当の理由のように思える。気分転換に酒を嗜むのもいい。でも、日常を脱した空間で、「奴」のことだけを考えて時間を過ごすのも素敵なことだ。なぜかは知らないが、最近、小学生の息子がテレビで釣り番組を見ている時がある。いちど、彼を川釣りに連れていった時、小さなハヤだが自分で釣って大喜びしていたことがあった。今度は、私の気分転換も兼ねて、彼を堤防釣りにでも連れていこうかなと思う。堤防ならば、きっと小さいメジナが釣れるに違いない。皆さんは、脱日常に自分をどう誘っておられるだろうか。

（なんば　まさのり）

Message

# 理事長挨拶

一般社団法人
教育文化振興実践桜会　理事長
鈴掛 まゆみ

6月の「新潟・山形地震」7月の「九州豪雨」と災害が続きましたが、各地域の支部長さんに連絡をとりましたところ、幸いに被災した会員はいらっしゃらないということで一安心しております。改めまして卒業生の皆様含め災害地域の皆様にお見舞い申し上げます。

令和のスタートと共に、実践女子学園創立120周年記念式典、祝賀会、J-FES、実践桜会定時総会とお祝い続きの5月でした。5月7日は、下田歌子先生生誕の地である岩村にて学園創立120周年記念式典と記念碑の除幕式に桜会本部役員20名と岐阜支部長と桜会会員の計22名が参列できましたこと、そして120年間の卒業生約17万人を代表して祝辞を述べる機会をいただいたことは、本当に光栄であり、うれしい限りです。見事な“歌子晴れ”（桜会本部役員の造語です☆）の岩村にて下田歌子先生のご生涯、偉業の数々を再認識し再顕彰する機会を得ることができました。これら一連の行事の写真は本誌25ページより掲載してありますのでご覧ください。

さて、来年5月は役員改選の年に当たります。毎回、各選出母体にとって、役員候補者を推薦及び選出することは大変困難な状況であります。会員の皆様の御意見、ご提案をいただき参考にし、実践桜会にとって重要なこの課題を考えていかなければなりません。

今年度の支部訪問は、学園の城島学長と本部役員と共に6月30日（日）に開催された沖縄支部総会に行って参りました。沖縄支部会員10名と実りある交流ができました。出席の沖縄支部会員10名全員が、沖縄復帰（1972年）前にパスポート持参して渋谷の実践に学んでいた世代の方々でした。詳しい沖縄支部訪問の記事は、本誌20ページをご覧ください。

実践桜会の役員任期は、一期2年と定められています。私は、理事長としての二期目もあと半年を残すところとなりました。この4年間を振り返りますと、一年目はただただ行事と桜会事業をこなすことで精いっぱいでした。2年目に入り、やっと学園のこと、支部・科会のこと、桜会会員のことにも目を向ける余裕ができ、3年目には新しい役員とのチームワーク作りを大切にし新鮮な意見も取り入れてきました。そして今、4年目に入り、一連の流れを把握しながら物事の進行がスムーズに進められるようになりました。これも学園・支部・科会・桜会会員そして桜会事務局の方々のご協力・ご支援のおかげであると、常に感謝しております。「続けること」「繋げること」は意識して努力しなければならない、と実感する今日この頃です。

あと半年の任期ですが、私なりに全力で務めて参ります。

（すずかけ　まゆみ）

## 令和元年度実践桜会定時総会報告

令和元年度実践桜会定時総会が5月19日（日）、セルリアンタワー東急ホテルにて開催されました。代議員総数153名中、出席代議員92名、委任状提出53名で定足数を満たし、定款第22条により総会は成立、すべての議題が承認されました。

【議題】
1.平成30年度事業報告の件
2.平成30年度決算書承認の件
3.公益目的支出計画実施報告書承認の件
4.監査報告
5.令和元年度事業計画（案）及び予算（案）の件

総会後、懇親会が開かれました。学園理事長、学長、副学長、中高校長はじめ39名の来賓の皆様のご臨席を賜りました。6系列科会長、30支部の出席がありました。支部を代表して鳥取支部長のご挨拶、新入会員として高校卒業者代表と大学・短期大学部・大学院卒業者代表の挨拶がありました。

続いて、昨年度常磐祭において学長賞を受賞されたマンドリンクラブの演奏が披露されました。ＯＧを交えた優雅なマンドリンの音色に会場は、一層和やかな雰囲気に包まれました。

## 系列科会・支部長・実践桜会役員懇談会

総会・懇親会に引き続き系列科会長、支部長及び代理の方々と桜会役員との懇談会が〈朝霧の間〉に会場を移して行われました。桜会からの配布資料の説明、各科会からのお知らせの後、意見交換が行われました。限られた時間でしたが有意義な会となりました。

ご意見は、今後の桜会の運営の参考にさせて頂きます。

特別寄稿

# ケンブリッジ大学の一軒の家

## ニューナム・コレッジ　下田歌子先生との縁

実践女子大学
文学部英文学科教授
大関 啓子

英国ケンブリッジにあるレンガ造りの三階建ての家（写真1）。この一軒の家が100年の歳月を経て、学祖下田歌子先生の視察の足跡を教えてくれました。

テラスハウスの角のこの家の一階に、ケンブリッジ大学客員研究員として1991年在外研究で訪れた私は、半年間住むことになりました。大家さんはニューナム・コレッジ（写真4）、1871年創設のケンブリッジ大学で二番目に古い名門女子コレッジです。女性の研究者のみ、しかも6ヵ月間だけ、という限定条件だったため、3月末に渡英した私が、運よく借りることができたのです。

東向きの六角形の大きな出窓に高い天井までの造り付けの本棚と暖炉のある居間、クローゼット付の寝室、それらの裏にDKとバス・トイレがあり、町の相場並みの家賃でしたが、すぐ前にあるニューナム・コレッジのすべての施設を自由に使えるという条件が気に入り、即入居。初日からコレッジの様々な分野のスタッフが、温かく迎え入れてくれました。セキュリティーとメンテナンスは、24時間コレッジで対応、一年中おいしい食事を一日三食リーズナブルな金額で提供してくれるダイニング、シーツなど大物の洗濯は無料、ウェッジウッドの食器のような明るく美しい天井の図書館が自分の書斎となりました。イングランドで最も長い回廊を通勤路として、毎日教壇に立つ度に往復し、美しい花々が咲き乱れる中庭でゆっくりと休日を過ごす。当時の私は何も知らず、そんな夢のような毎日を過ごしていました。なんと、このニューナム・コレッジを1895年、下田歌子先生が訪問し、視察していたのです！

1871年、哲学者ヘンリー・シジック（写真3）は、女子学生のための学寮として、別の場所に小さな家を設え、A. J. クローと5人の女子学生を住まわせます。これがケンブリッジ大初の女子学寮であり、ニューナム・コレッジの起源です。その4年後、今のニューナム（Newnham　新しい集落の意）の地に、オールド・ホール（写真4. 右手の建物）を建設し、シジック・ホール（写真4. 左端の建物、1880年）、ファイファー・アーチ（写真4. 中央の建物、1893年）と、学生生活充実のための施設を増築していきます。それらはすべて、建築家B.チャムニーズ設計により、アン王朝風で、赤レンガに白い窓枠という美しいデザインで統一されていました。

写真1. ヘンリー・シジックの家（大関撮影）

写真2. ニューナム・コレッジ 図書館内
（大関撮影）

ケンブリッジ大学では、学寮ともいうべき女子コレッジは、女性の高等教育実現のために、ガートン（1869）、ニューナム（1871）が創設されていきましたが、講義と卒業資格を担当する大学は、未だ女性に門を開いていませんでした。その道を一歩一歩、皆の努力で切り開いていく事になります。女子学生達は、始めは授業への出席を許され、次に科目ごとの試験を受けられるようになります。そして最終的にトライポスを受けることが認められるようになりました。トライポスとは、ケンブリッジ大学における、学位への優等試験のことです。しかしこの時代、女子学生達がどんなによい成績を示しても、卒業資格はなかなか与えられませんでした。ケンブリッジ大学で、女性の卒業資格が認められるのは、それから半世紀以上も後の1948年のことになります。

ヘンリー・シジックは、A. J. クローと共に学寮としてのニューナム・コレッジを発展させていく一方で、大学における女性のフルメンバーシップを実現させるために、様々な工夫と改革を行っていきます。その方法は、ガートンとは対照的で競い合っていましたが、互いに協力して相互理解を計り、妨げ合うことはありませんでした。

歌子先生がニューナムを視察したのは1895年、ちょうど改革の真最中のことでした。初代学長A. J. クローの跡を継ぎ、ヘンリー・シジックの妻エレノア（写真3）が二代目学長となっていました。

彼女はニューナムの最初の学生の一人であり、第二代ソールズベリ侯爵の長女で、英国の首相や大臣を輩出した名家の出身です。クロー学長の下で、副学長も務めました。性格は、厳格で理知的な人といわれ、31歳でヘンリーと結婚します。

写真3. ヘンリー＆エレノア・シジック夫妻

このエレノア学長と夫のヘンリーが、歌子先生を出迎えました。その時の彼らの自宅は、なんと私の住んでいたあの家でした！自宅に招き、あの居間の暖炉の前でお茶を飲み、日英の女子高等教育の実現について、語り合ったことでしょう。

歌子先生は、ニューナム・コレッジの関係書類を日本に持ち帰り、1899年の実践女学校創設に活かしました。これについて、今月の英文学科公開講座シンポジウム（10/13）で、「実践のルーツを英国に追う」と題してお話し致します、どうぞお出かけ下さい。

ヘンリー・シジックは、1900年、この家でその最後を迎えました。三階には、今でもヘンリーの幽霊が出るという噂があります。残念ながら、私はお会いできませんでしたけれど。

（おおぜき　けいこ）

写真4. ケンブリッジ大学　ニューナム・コレッジ　中庭より
（右手オールド・ホール1877年、中央ファイファー・アーチ1893年、左端シジック・ホール1880年、大関撮影）

輝くひと

# 父、吉田幸一の古典文庫本つくりを手伝う

倉島須美子（旧姓吉田）
（昭和35年／大学国文学科卒）

父、吉田幸一は当時東洋大学教授。昭和21年6月に古典文庫第一冊目「万葉集〈西本願寺本一〉」を刊行し、研究者と出版者との二足の草鞋生活が始まった。

ある日母が「須美子、お父さんを助けてくれない?」と。今まで手伝ってくれた方が辞められるので代わりの方をさがしており「須美子はどうだろう」とのこと。私でよければと承諾した。母の話によると、今やめる方はまじめで誠実な方。しっかり務めてくれてありがたかった。その前は、自分から手伝わせてくれと来た他大学の女性で、父の仕事をしながら、翻刻を頼まれている本を自分の論文にちゃっかり引用してすましていた。父の友人が見つけ「気を付けないとダメですよ」と忠告してくれたことがあって、誰でもいいという訳にはいかない。母が、須美子が手伝うというと喜んでくれた。

始めは週二回通ったが、仕事内容が翻刻とか校正は家で出来るので、週一回に。私は、父や母に会えるし、父の仕事を手伝うことで喜ばれ、こんないいことずくめはない。しっかり勤めようと心に決めた。

まずは翻刻から始める。「翻刻」とは江戸時代以前の書物の文字を、今使用している文字に直すこと。平安時代から室町あたりのものは書道をやっているので、変体仮名などは読める。但し、江戸時代のものになると略字や異体字、あて字などあり読みにくい。それをまとめて父に聞くとさらりと答える。さすが、と感心してしまう。しばらくは翻刻と校正が続く。だいぶ読めるようになると、今度はその本だけでなく、異本や関係書物を調べに行く。一番頻度が高かったのは「国会図書館」。父に連れられて行く。貴重図書は保管の関係上午前11時までに行かないと見られない。貸し出された本を書き写す。当時はコピーもファックスもない時、時間がかかって大変でした。また、加賀文庫のある都立中央図書館は有栖川宮記念公園にあり、庭園を散策するのは気持ちがよい。

図書館以外で古い書物を持っている所は「東洋文庫（駒込）」「静嘉堂文庫（二子玉川）」「五島美術館（上野毛）」など。初めての所は父に連れられて場所を憶え、後には一人で行くようになる。「五島美術館」へ行った時は真剣に写したにもかかわらず閉館時間となり、あと十分待ってくださいとお願いし、さらに十分かかってしまい、大変ご迷惑をおかけしたこともありました。調べ物は東京に限らず京都までも。父と二人で京都大の図書館へ行った。父は調べ物が終わると、時間は大切だからとさっさと帰って行く。私はせっかく京都まで来たのだからと東本願寺さんを拝んで帰るわと。また、大谷大学の図書館に行った時、写し終わって京都駅へ出ると大変な騒ぎ、何かあったのか、そう、あの地下鉄サリン事件であった。急に子供達（既に勤めている）のことが気になりだしたら止まらない。当時はまだ携帯などない時、新幹線は早いのに、もどかしくて、早く早くと祈りながら、家に着いて皆無事でほっとしたことを思い出す。

古典文庫本が670冊まで刊行が決まったので、すぐ『浮世絵擬小倉百人一首』にとりかかる。父はその時91歳でまだ仕事はできる。でも体力はそれなりなので、あまり負担はかけたくない。そこで日ごろお世話になっている「笠間書院」にお願いにあがり、池田つや子社長はじめ橋本孝様、大久保康雄様ほかの方々にお力添えをいただき出版することに。さらに本が出来てからの販売などについてもお願いした。皆様のご努力のおかげで本は思いの外早く出来上がり、父に見せることができ、喜んでもらえましたので、私も嬉しくホッと安堵しました。

更にもう一つ、古典文庫総目録の「続」を出さなくてはと思い、父に力を貸してくださっている東洋大学教授の中山尚夫先生と若い頃から父の縁の下の力持ち的存在の池田謙三氏にお願いして、父が作った『古典文庫総目録』を手本にして作りました。お二人方とも細部にわたり調べてくださり、満足のいく『古典文庫総目録 続』ができ、心から感謝申し上げます。

古典文庫とは、文庫本型の本のみならず、古典文庫発行所の名称にもなっているのです。

以下古典文庫発行の単行本を簡略に列挙しますと、

| | |
|---|---|
| 『西鶴研究』　復刊第1集～第10集 | 10冊 |
| 未刊文藝資料　B6判（全3期） | 20冊 |
| 『近世文藝資料』　B6判上製本　全25編 | 49冊 |
| 『古典聚英』　B5判製全9冊、別冊１ | 10冊 |
| 上記以外の単行本 | |
| 『和泉式部全集』　2巻　吉田幸一編著 | 2冊 |
| 『和泉式部研究』　2巻　吉田幸一著 | 2冊 |
| 『清少納言枕冊子の研究第1輯』　田中重太郎著 | 1冊 |
| 『前田家本枕冊子新註』　田中重太郎著 | 1冊 |
| 『枕冊子研究』　田中重太郎著 | 1冊 |
| 『校本枕冊子』　田中重太郎著（3巻・索引2） | 5冊 |
| 『宇津保物語新論』　宇津保物語研究会編 | 1冊 |
| 『宇津保物語新攷』　宇津保物語研究会編 | 1冊 |
| 『宇津保物語論集』　宇津保物語研究会編 | 1冊 |
| 『神道物語集』　横山重編著 | 1冊 |

以上105冊になりました。

おわりに、戦後、焼け跡に灰と化した本を手に取るとパラパラと跡形もなくくずれるのを見て茫然と立ち竦んだ父が、本にとりつかれて、ここまで復興させたその信念と行動には頭が下がります。学究者だからこそ、本の重要性が解り、本を世に出して、少しでもお役に立てたいとの思いは傍らに付いていても強く感じました。父は私の誇りです。私は父の晩年、24～5年を一緒に勤めたことになります。

（くらしま　すみこ）

［プロフィール］
昭和35年実践女子大学国文科卒業
昭和36年4月私立中村学園中・高で書道と国語教師。2年後退職。その後東洋大学通信教育部で書道教師の免許取得。今、恩師鷹見芝香先生のペン習字の月刊誌『ペン時代』を師匠亡き後、弟子たちと引き継ぎ編集、手本書き、審査などを続けている。

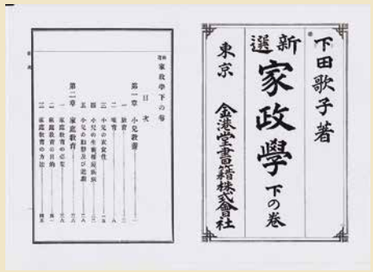
『浮世絵 擬小倉百人一首』におさめられている浮世絵百人一首　左より豊國、國芳、廣重　画

サークル
活動報告

『下田歌子先生の著作を読む会』研究レポート

# 下田歌子先生の家政学
## ―家庭教育について―

「下田歌子先生の著作を読む会」は、平成23年（2011年8月）に発足し、早8年を迎えました。現在本会は、下田先生が明治26年（1893）に初めて記された『家政学』に引き続き、ヨーロッパ諸国の視察から帰国された明治33年（1900）のご著書である『新選家政学』の輪読を行っています。本書は家政学史上、日本の家政学として初めて、系統的にまとめられた教科書ということができます。




本稿はその中から下の巻　第二章 家庭教育について、原文の一部と要約をご紹介いたします。百年以上も前のご著書ですが、家庭教育の在り方について、現代にも通じるご示唆に富んだ基本を説いています。

「下田歌子先生の著作を読む会」（実践桜会会館内サークル）

## 下の巻　第二章　家庭教育

### 1.家庭教育の必要（原文抜粋）

家庭教育は、其母の受胎中、及び襁褓の裡の教育、甚だ大切なるべしと雖も、其学齢に達する頃ひ、母は一層、深く心を用ひて、其家庭教育に十分力を竭すべきなり。

習慣は、第二の性といへる詞は、誰も能く知ることなるが、げに習慣の力の大きなる、實に驚くべきものあり。而して、教育とは、即ち、悪を退けて善を行ひ、無益の事を除きて、有益の事を為すべき、好習慣をつくるの謂なり。されば、いかほど、至難なることも、幼稚の頃より之に馴るれば、決して勞苦を感ぜざるものなり。之に反して、何程、容易なる事も、年長じて後に、課せらるれば、甚だ困難におぼゆるものにぞある。故に母たらん人は、小児の心身の、尚ほ極めて、脆弱なる頃に於て、勉めて好き習慣をつけ、天賦の良性は、益々良きに増進せしめ、其悪性をしも改造して、智徳全き子女たらしめんことを期すべし。

### 1.家庭教育の必要（要約）

家庭教育は、母の受胎中、及び幼少期にも大切ですが、殊に学令に達する頃に、母は一層深く心を遣って、家庭教育に十分力を尽くすべきです。

習慣は、第二の性と言う言葉は誰でも知っていますが、習慣の力が大きい事は実に驚くべきです。教育とは、悪い行いを改めて、良い行いを為し、無益な事を止めて、有益な事を為すという良い習慣を身につける事です。どんな困難な事も、幼児の頃から馴れた事は決して苦しいと感じません。これに反してどんな容易な事も、成人してから課せられると、大変困難に感じるものです。ですから母親は子供が心身共に未だ脆弱な頃から良い習慣がつくように努め、生まれつきの良い性質を伸ばし、悪い性質を改めて、知性と徳性を備えた立派な子供に育てる事を心がけるべきです。

### 2.家庭教育の目的　（原文抜粋）

家庭教育の目的は、知育、即ち、理を極めしめんと勉むることも、大切ならざるにあらずと雖も、要は、其子女の徳育、即ち、其心を固からしめ、其情を厚からしめて、而して、徳を養ひ、兼ねて其身體を強健にし、寒暑にも耐へ饑渇にも阻まず。常に健康なる精神の、能く健康なる身體に宿らん事を期すべし。

世間やゝもすれば、愛兒が智の鋭敏なるに誇りて、其少しく書を讀み字を書くを見ては、過譽百端、知らず知らずも、其心を驕らしめて、遂に、不遜の人となし。人智の進歩は、やゝもすれば、道徳と相ひ提携して進むことを能くせざるなり。

児を励ますの標準たるに適当なる人無しとせば、遥かに、東西の古聖、先哲の蹟を示して、以て、奨勵鼓舞すべし。然れども、其餘りに、遠隔せるは、其感情密接せざるが故に宜しからず。同じくは、同國同族の人、或は、友人知己の祖先等に在らんは最も可なり。さらずは、其年齢の相ひ近き者、其位置の相ひ均しき者等、亦能く取りて以て則とすべし。

### 2.家庭教育の目的（要約）

家庭教育の目的は、知育も大切ですが、特に必要なのは徳育です。即ち思いやりや博愛の精神を養うこと、同時に何事にも耐える強健な身体を養うことです。常に健康な精神が健康な身体に宿ることを期すべきです。

子は、成長と共に智恵がつき、親はその智力を喜び期待しますが、幼い時の過度の評価は思わぬ結果を呼び起こすことがあります。したがって、母親は家庭で道徳教育に深く心を遣う必要があります。また、子どもの成育に目標となる人が見当たらない時は、優れた学者・思想家の足蹟を模範にすることです。しかし年令や地域がかけ離れて親しみにくい時には、身近な縁者や近隣の人の中から目標となる人を得ることです。

### 3.家庭教育の方法　（原文抜粋）

家庭教育を行ふ方法は、如何にせば可なるべきか。

子女學齢に達すれば、父母は、學に就かしむべき義務あるものなれば、彼等を勸めて悦び勇みて、通學せしむるやうにし、師を信じ友を愛し、且つ家に還りては、學問と實地と、相俟ちて、其智徳を磨くに裨益すべく、能く、其兒童の腦力と體格との發達程度に注意し、其強弱と年齢とに、適當して、いさゝかも過不及無からんことを期すべし。

最も心を用ふべきは、子女等が學校にて、授けられつつある所の學文技術の程度を能く知り、能く辨へて、其教育の目的と針路とに、撞著すること無く、幼き子どもの心身の發達と相ひ伴ひて、能く、希望の如き効果を得んことを期すべし。

### 3.家庭教育の方法　（要約）

家庭教育を行う方法は、どのようにしたらよいでしょうか。

学齢に達した子女は学校に行かせる義務が有りますから、喜んで学校に通うように配慮し、先生を信じ、友達を愛し、また家庭では学問と実生活の技術を両立させ、知識と特性を磨き、そして、子供の能力と体格の発達程度に注意して、年齢に相応しい内容であるよう心がけるべきです。

特に注意を要するのは、学校で受けている学問・技術の程度をよく知り、その目的や方針と食い違わないよう留意して子供の発達に合った最大限の効果が得られるようにすることです。

其が賞罰は、早くより、極めて、厳正ならんことを要す。然れども、其緩急の度は、また殊に能く心を用ひて、ゆめゆめ、其當を過まることあるべからず。詳言すれば、他の不幸を憐れみ、他の窮厄を助けんとし、又は、我が過ちを自白して、其眞を訴ふるが如き事あらば、必ず其が善行を嘉みして、適宜の褒賞を與ふべきなり。

その賞罰は早くから極めて厳正にすることが必要です。しかし、その厳しさの度合いにはよく配慮してゆきすぎないようにします。また、他人の不幸を憐れみ、苦しみを助け、また自分の過ちを申し出て真実を述べれば、必ずその善行をほめ、適宜な褒美を与えましょう。

下田歌子先生の著作を読む会 参加者　　2019年5月

岩瀬洋子（大英32卒）　　神谷早苗（院国51卒）
福村和子（短被32卒）　　小林美礼（大被57卒）
飯泉邦子（大英40卒）　　鍛島康子（大被35卒）
鈴掛まゆみ（大英48卒）

## 実践桜会会館利用サークルのご案内

| サークル名 | 活動曜日 | 主な内容 |
|---|---|---|
| 編み物の会 | 第3金曜日 | 工芸・編み物 |
| アトリエ染花 | 不定期 | 工芸・飾り花 |
| 実践桜会囲碁教室 | 第2・4月曜日 | 囲碁 |
| 英文輪読会A | 第2・4金曜日 | 英文学 |
| 英文輪読会B | 第1・3金曜日 | 英文学 |
| 実践絵手紙の会 | 第3日曜日 | 絵手紙 |
| 楓会 | 第2火曜日 | 染色 |
| 桂泉会 | 月二回土曜日 | 華道古流 |
| 香友会 | 不定期 | 香道 |
| 桜書道教室 | 月二回土曜日 | 書道 |
| 下田歌子先生の著作を読む会 | 第3日曜日 | 研究会：下田先生を広く知る |
| 童の会 | 不定期 | 文学・児童の研究と創作 |
| ハーダンガーの会 | 第2木曜日 | 工芸・ハーダンガー刺繍 |
| 北欧刺繍に親しむ | 第3日曜日 | 北欧刺繍 |
| マンドリンクラブOG会 | 不定期 | 音楽・マンドリン |

| サークル名 | 活動曜日 | 主な内容 |
|---|---|---|
| 実香会 | 第3土曜日 | 香道 |
| 日本刺繍の会 | 第4木曜日 | 日本刺繍 |
| 日本ギャスケル協会 | 第1又は第3日曜日（不定期） | ギャスケルの研究 |
| 北欧クロスステッチ | 月一回土曜日 | 北欧刺繍 |
| 青脈会 | 不定期 | 山岳部OB会 |
| ハワイアンスクール | 第1・3火曜日 | 健康フラとウクレレ |
| JJF | 不定期 | 中高在籍中の子女の父親の会 |
| 絽ざしの会 | 第2火曜日 | 伝統工芸刺繍による小物作り |

2019年4月現在／お問合わせは会館事務局へ

QRコードを携帯などで
読み取ってください。
桜会会館ご利用サークルのご紹介を
直接ご覧いただけます。





社会活動報告

# 福島県支部の取り組み「歴史学者朝河貫一博士」に学んだこと

## ～山内晴子学術博士の講演会～

福島県支部長　本多節子

福島県支部では3年間連続で「朝河貫一博士」をテーマにした講演会（会員以外も聴講）を開催いたしました。本支部がどのように「講演会」による「学び」を展開したのかをここにご紹介いたします。

### 1）朝河貫一研究会の設立と目的

講師山内晴子先生は、朝河貫一研究会理事を務めていらっしゃいます。朝河貫一研究会は、1991年4月27日に第1回の研究会が開催されてから、実に30年ほどの歴史を持っています。研究会は、朝河博士の ①歴史学の業績 ②国際人としての軌跡 ③人間朝河の全人格像を探求すること を目的として設立されました。主として、「教授と研学」とを本務とする諸先生方が研究を深めていらっしゃいます。

### 2）朝河博士についての講演会開催の理由

朝河博士（1873～1948）は、日本人としてはじめてイェール大学の歴史学の正教授となった福島県の偉人です。その業績については、イェール大学で学生の指導（講師）をはじめてから100周年を記念して造園された朝河貫一記念ガーデンの銘板に刻まれている「Professor of History, Curator, Peace Advocate 」という銘文に明らかです。「日欧中世法制史のすぐれた研究者として広く認められた歴史学の教授、イェール大学図書館東アジア・コレクション部長、平和を希求する人」、銘文が見事に博士の業績を伝えています。また、その人柄は、繊細で内省的であるとともに道徳性も高く、人を思いやる優しさの持ち主でもありました。そして、快活な人物でした。

博士の業績と人柄に思いを馳せるとき、「世界は今、保護主義、排他主義的な思潮に染まりつつあるのではないだろうか。この困難な時代をわたし達はよく知り、よく考え、よく学んで自分自身の行動に責任を持たなければならない。」という思いを強くしたのです。このことが、3年間、「朝河博士について講演会を開催」した理由です。

### 3）演題は、3年間で博士への理解を深化するように設定

朝河博士は、福島県尋常中学校（福島県立安積高等学校）を首席で卒業し、英語で答辞を述べた際、校内でたったひとりの外人教師ハリホックスから、「やがて、世界はこの人を知るであろう。」と評されました。では、世界の人びとはどのように朝河を知り、その業績に学んだのでしょうか。山内晴子先生のご教示をいただき、3年間の演題は、次のように設定されました。

2017年演題「今、朝河貫一博士の生涯と業績から何を学ぶか」
2018年演題「朝河貫一博士の提言：日本とアジアの外交」
2019年演題「朝河貫一：天皇制民主主義の学問的起源」

2017年の講演からは、「平和を希求する人朝河貫一」の先見性を学び、行動する人であったことへの理解を深めました。また、山内先生は、学祖下田歌子先生から朝河博士に一通の書簡が送られていることも明らかにしてくださいました。下田先生の書簡は、校歌の揮毫に見られるような王朝風の書風ではなく、墨を十分に含ませた力強い書風でした。明治40年8月6日付です。その文面には、「（朝河博士からの）依頼は（下田先生が）多忙のため、延引すること、そこで、別紙を送ること」が書かれていました。

2018年の講演は、東アジア諸国との外交関係が緊迫していたことから、「外交とは相手の精神の理解を通して自分の目的を達成するにあります。」という博士の言葉を心に刻むことになりました。

2019年の講演は、令和に改元された折から、朝河博士による「天皇制民主主義の学問的起源」に理解を深め、正しい歴史観を持つことの警鐘となりました。

福島県支部では、本講演会を契機に、今後も「学び」の機会を求めて努力していきたいと考えております。

## 札幌支部
岩本 郁子
（昭和37年／大食卒）

昨年度9月8日予定しておりました社会活動は、地震と停電の為連絡も取れず究極中止になりましたが、無事12月1日開催することが出来ました。

早速皆様からの、励ましのお言葉やお見舞金を賜りまして、心から感謝申し上げます。

今年度も在校生からの連絡を頂き、ソーラン祭り演舞の応援に有志で出かけ、未来のある若者達との絆を深めることが出来ました。

支部総会は、6月9日（日）でしたが若い方達はお忙しく役を引き受けて頂けなく、引き続き同じメンバーで続投となりました。

しかしながら、社会活動「健康づくり講演会」を続けております。札幌市による「まちづくり活動団体」に登録させていただきサポートセンターにシステムが利用できるようになり、作業がしやすくなりました。札幌市民への活動として認めていただけたことは大変うれしい事です。

社会活動は10月26日（土）
『健康づくり講演会』
テーマ 「がん」
予防とスピリチュアルケア
講師 藤女子大学教授
藤井 義博氏 （医学博士）
予定しておりますので、会員のご協力により、多数のご参加を期待しております。

## 函館支部
宮村 智子
（平成1年／大国卒）

令和最初の函館支部総会を10月に開催する予定です。

写真は昨年10月の総会での一枚です。

前号のなよたけ情報版において、「函館・道南ご出身の方がいらしたらぜひご連絡ください」とお伝えしたところ、中学・高校時代を函館で過ごされた東京在住の先輩からご連絡をいただき感激いたしました。改めて、実践の絆を感じ、嬉しく存じております。

## 岩手支部
村井 沙織
（平成22年／大人社卒）

去る令和元年6月20日(木)ホテルメトロポリタン盛岡NEWWINGにて、支部総会と懇親会を開催しました。12名の会員が集いました。年に一度のこの日を楽しみにしている会員が多く、今年も元気な姿で顔を合わせることができたことを喜び合いました。役員の出席率の関係で今年初めて平日開催にしましたが、皆さん変わらず出席してくださいました。懇親会では、美味しいお料理を頂きながら、近況報告に花を咲かせ、終始和やかに楽しい時間を過ごしました。

## 宮城県支部
渡邉 裕子
（昭和49年／大国卒）

令和元年になって初めての、宮城支部総会が今年もメトロポリタン仙台「はや瀬」で行われました。前半は「今、食べたもので身体はつくられる!子どもたちへの食育から～」と題しての講演。講師は、宮城県支部副支部長の谷口あき子さん(昭和57年大学食管卒)。谷口さんは長年保育所で栄養士として活躍し、今年三月ご退職。食べることは生きること、健康長寿の三大条件（①栄養②体力③社会活動）などと、大変興味深いお話をして頂きました。その後の支部総会も無事に終了し、懇親会の近況報告では趣味や健康の話題で大いに盛り上がり、あっという間に時間が経過。終始和やかなうちに散会となりました。

## 山形支部
嘉規 則子
（昭和45年／大食卒）

「閑かさや岩にしみ入る蝉の声」 暑い盛りの山寺において詠まれたこの句は、俳人松尾芭蕉の紀行文『奥の細道』中の名句のひとつとして知られています。その芭蕉の名を冠する「山寺芭蕉記念館」で6月16日（日）支部総会が行われました。記念館敷地から宝珠山立石寺が一望でき、雨上がりの緑濃い木々に一層清々しさを感じました。今年度も元気で再会できたことに感謝しつつ楽しい会になりました。

しかし、会員の高齢化・加入会員減少により今年度より、幹事地区を4から2地区にせざるを得なかった。それに伴う総会や役員の輪番をどのようにするか、魅力ある支部活動のあり方など、支部存続に関わる難題のため様々な意見が出されました。また、会員より「地方にいると、実践の名が見えない、聞こえない」という意見も聞かれ、続く後輩達のためにも会員一致団結して支部の継続活性化に努めなければと思ったところです。

## 福島県支部
本多 節子
（昭和51年／院国修）

令和元年度福島県支部の総会と講演会（一般市民も聴講）を6月29日（土）に郡山市で開催いたしました。学園からは、創立120周年記念パンフレット『下田歌子』と『きらり 実践女子』をお送りいただき、出席者全員で下田先生の業績の偉大さと卒業生の社会での活躍に心を寄せることができました。

総会では、来年度の事務局について審議し、今後の円滑な支部運営のために、来年度も郡山地区が事務局を担当することになりました。会食後の講演会では、山内晴子学術博士に、「朝河貫一：天皇制民主主義の学問的起源」の講演をしていただきました。改元に合致した演題は、天皇制について正しい歴史観を持つ契機となりました。

来年度も、より多くの皆様が総会にご出席くださるように、努めたいと存じます。皆様、どうぞ来年度もご出席ください。

## 茨城支部
久保田 節子
（昭和40年／短英卒）

去る6月23日（日）水戸京成ホテルにて、支部会員15名の出席のもと総会を開くことができました。

総会後の講習会は会員の友人の方々10名を含め24名が参加されました。

ここ数年、コンサートや講演会が主でしたが、今回は日立市を拠点として木の実とお花の教室「フォンテーヌ」を開かれている蛭田智美先生にご指導いただきました。

細かい手仕事から遠ざかっていらした方々も手芸用のグルーガンを用いた制作に一生懸命取り組んで、「木の実のプリザーブドフラワー」のコサージュを作ることができました。

どんよりとした梅雨空のもと、可愛らしいコサージュを眺めながら笑顔一杯の講習会でした。

## 群馬県支部
茂木 初枝
（昭和45年／大被卒）

群馬県支部は、令和元年6月2日（日）ホテルメトロポリタン高崎において第23回支部総会、講演会、親睦会を行いました。講演会は「万葉集の女性たち」と題し、今までの「源氏物語の女性たち」との比較と共に元号「令和」のお話も伺いました。

3名の初参加もあり、懇親会はよりにぎやかになり惜しみながらの散会でした。

秋は10月16日（水）『古民家カフェで語り部の昔話を聞き、徳川発祥の地、太田尾島地区の歴史を訪ねる旅』を計画しております。お一人でも気軽にご参加ください。

お待ちしております。

## 埼玉支部
小河原 俊子
（平成4年／院食修）

第23回総会は、6月22日（土）埼玉会館において、来賓に実践桜会理事長鈴掛まゆみ様、生活科学部長牛腸ヒロミ様、学長室部長荘司伸一様、学生総合支援センター課長内田雄介様をお迎えし、無事に終了いたしました。その後、千葉大学名誉教授栃木孝惟先生による「史劇の中の愛 軍記物語における母と子の物語」と題したご講演をいただきました。

今回、23年間支部長を務めた小河原俊子支部長、長年にわたり支部活動を支えた野口正江元副支部長をはじめ、他4名の役員が退任しました。改元と共に役員が新体制になり、皆に親しまれる支部となるよ

う努めてまいります。支部の活動は、実践桜会H.Pで発信していきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

**退任役員**
小河原俊子、野口正江、石戸昭子、鈴木克子、武重雪子、本間靖子

## 千葉県支部
竹下 寛子
（昭和62年／大食管卒）

千葉県支部の総会が令和元年6月9日京成ホテルミラマーレにて行われました。

難波雅紀副学長、実践桜会鈴掛まゆみ理事長、家政科会熊切冨子会長・野口伊津子副会長をお迎えし、無事総会を終えることができました。

国文学科名誉教授の栗原敦先生に宮沢賢治についてご講演いただきました。

いじめや引きこもりのニュースが後を絶ちません。子どものことだけでなく人と人とのかかわり方や自分の心の持ち方など、簡単に答えの出せるものではありませんが、その時々で受け止め方に変化があるものだと改めて考えるきっかけにもなりました。また、東京音楽大学の卒業生による演奏などもあり、有意義な時間を共有することができました。

昨年は10月に鹿野山散策、3月に聖徳記念絵画館と東京プリンスホテル食事会を催しました。聖徳記念絵画館では学祖下田歌子先生ゆかりの展示など、学園創立120周年の節目に足を運ぶことができたのもうれしく思います。

今年も秋と春にミニ同窓会を予定しております。会員の方のお知恵や情報を総合して楽しい時間が過ごせるよう努力してまいります。支部の活動を通して会員同士のつながりを深めていけたらと思っております。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

尚、次年度の千葉県支部総会は2020年6月21日（日）を予定しております。

## 神奈川支部
守田 由紀子
（昭和48年／大英卒）

3年前に発足した神奈川支部の礎となる「小田原支部実り会」の発会は昭和38年11月です。56年の月日が流れています。

今年、学園創立120周年の歴史を重ねるなか、令和元年7月7日（日）に横浜「ホテルニューグランド」にて、「神奈川支部総会・懇親会」を行いました。ホテルの近くには旧英国総領事館の横浜開港資料館や1859年に来日したヘボンの塾・邸宅跡があります。

また、この地は、ガス、水道、電話、郵便、新聞、写真、人力車、煙草、生糸貿易、石鹸、ビール、アイスクリーム、パン等の発祥地です。青い目のサムライであるウイリアム・アダムス（三浦按針）が、1605年に拝領して横須賀に居住したり、ジュール・ヴェルヌの『80日間世界一周』（1726年出版）にも横浜が登場する等々、歴史に溢れた興味深い地にある「神奈川支部」です。

皆様のご入会をお待ちしております。

## 長野支部
小島 宏子
（昭和38年／短生卒）

長野支部は、昭和55年10月に創立し今年で40年になりますが、以来会員同士の変わらぬ暖かな交流が続いております。

南北に長い県の為、北東信、中信、南信ブロックにわけ、ブロック毎の集まりで絆を深めています。

毎年支部役員会は、6月第1日曜日に県の中心である松本市にて開催、総会は10月第1日曜日にブロック持ち回りで開催いたします。

本年度は、6月2日（日）に役員会を行い今年度の予定等を決め交流をはかりました。総会は10月5日（土）中信ブロックの松本市で講演会を予定しております。

会員の皆様、新卒業生の皆様どうぞ気軽に総会にご出席下さい。お待ちしております。

## 新潟支部
齋藤 清子
（昭和51年／大食卒）

6月に、新潟・山形地震で最大震度6強を観測したものの、大規模半壊や全壊はゼロでした。支部の方々からご心配いただき誌面をお借りしてお礼申し上げます。

新潟には、下田歌子先生のおしえを胸に深くきざみ、母校への愛と、誇りを抱き活躍されている女性が大勢いらっしゃいます。今期は、新潟にしっかり根を張り力強く輝いている卒業生を紹介します。

●令和元年9月　新潟支部総会開催
●令和元年10～11月　新潟の輝く卒業生を訪ねて
●令和元年11月　会報誌発行予定

故寺澤昭子前支部長を偲ぶ会は、涙あり笑いありで、心温まるひとときでした。その意志を引き継ぎ、新潟支部を一層盛り上げるよう決意いたしました。

## 富山支部
奥川 孝子
（昭和44年／大英卒）

6月16日（日）、県内の一部に大雨警報がでるほどの悪天候の中、久しぶりに総会を行いました。

久々なので学園の今と将来の動きを知りたいと思い、卒業生で今、最も輝いておられる一人の高瀬真理子教授から「富山支部へのエール」と題して、講演をしていただきました。

実践桜会から鈴掛理事長にも応援に来ていただき、総勢18名集まりました。懇親会では、歳を忘れて懐かしい学生時代を思い、目を輝かせ時間を忘れて語り合いました。来年の総会の目標は、今日の出席者が1名友人を誘って参加することにしました。

今後は、来年度の総会に向けて1～2回の役員会を予定しております。

## 福井支部
谷 洋子
（昭和42年／大食卒）

福井県では北陸新幹線の福井延伸工事があちらこちらで進められています。福井駅前が益々にぎやかになってきました。

新緑が梅雨に輝く7月7日、令和元年度総会を駅前のユアーズホテルフクイ「ボヌール」にて行いました。総会後の懇親会では、会員6名がフランス料理を食べながら、和やかな雰囲気の中、近況などを語り合いました。もっぱらの話題は、次の総会や懇親会の内容でした。

来年も福井にいらっしゃる会員のみなさまとお会いし、和やかな時間をすごせることを楽しみにしたいと思います。

## 静岡支部
鏡島 眞理子
（昭和52年／大被服卒）

静岡支部では毎年行われる桜会のバザーに、お茶や特産品の寄贈と販売などに会員の方々のご協力をいただいています。今年は例年と違い9月に実施されるので、例年通りの品揃えは叶いませんが、これからも寄贈品の提供などの協力を続けていきたいと思っています。

## 関西支部
堀田 由美子
（昭和56年／大食卒）

令和元年度の活動報告と活動予定

実践桜会関西支部は、関西2府4県（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県）にまたがる支部で、会員数は166名（2019年5月末現在）です。

6月5日（水）

今年度の役員・幹事での幹事会をしました。

10月16日（水）

ホテルニューオータニ大阪にて、第87回関西支部総会・親睦会を行い、講演会には、高野山真言宗全興寺（せんこうじ）ご住職　川口良仁（かわぐちりょうにん）氏による「幸せな100年人生とは」と題してご講演頂く予定です。

## 鳥取支部
常田 明美
（昭和41年／大食卒）

◎活動報告

令和元年6月29日（土）鳥取市より車で1時間の緑豊かで、樹々の間から藁屋根の田舎家がぽつぽつとのぞいている智頭町の山里料理みたき園より拡大役員会を開催

し、会員の皆様と楽しい1日を過ごしました。今年度視察研修先・開催日時を決定し、また来年4月よりの役員交代について話し合い、新しい支部長、会計を選任いたしました。

◎活動予定

年齢差にもかかわらず、打ち解けて話しあえ、懇親を深める視察研修を続けてまいります。今年度は四国の高知市に決定いたしました。

令和元年

11月９日（土）高知城･ひろめ市場･高知県立牧野植物園

11月10日（日）約430軒の露店が並ぶ日曜市・桂浜の坂本龍馬像・高知県立龍馬記念館・桂浜水族館の予定でございます。

## 島根支部　大谷 香代子
（昭和49年／大国卒）

本年度は、社会活動事業を5月11日に開催いたしました。桜会本部には変則的事例となりお手数をお掛けしてしまいましたが、参加いただいた皆様方からは大好評を博しました。

毎年伝統文化に根差すところの講演で、母校の「伝統を受け継ぎ未来へつなげる研究拠点へ」に沿うものと考えます。

●三條西公彦氏による公卿三條西家について
●霞会館衣文道研究会による十二単着衣着装の実演
●笹本武志氏による平安の笛
●冷泉貴美子氏による和歌と被講実演
●能楽師種田道一氏舞実演

いずれも100名前後の参加者でした。

支部総会は11名の参加で和やかなうちに母校120周年を感じつつ島根での充実した人生を全うすることを誓い合いました。

## 岡山支部　岩藤 充子
（昭和60年／大英卒）

今年は3年に一度開催される「瀬戸内国際芸術祭」があり10月の秋の会期に懇親会で、犬島に行く予定です。最大河川の旭川の川下から瀬戸内海の島に向かう「京橋クルーズ」で潮風に吹かれて1時間の船旅です。犬島港に着くと目の前に銅の精錬所跡があり、建物の中が美術館になっていて室内でアート作品を拝見することができます。

地元で採れたてのお魚やお野菜を使ったイタリア料理店もあり、美味しくランチが頂けます。

島の人口は約50人程度で平均年齢70歳、面積は東京ディズニーランドの1.27倍だそうです。小さな島にもあちらこちらにアート作品があり、歩きながら次々と楽しめます。

年に一度の懇親会では食後にゆっくりとした時間を過ごして、大先輩から色々なお話を聞かせて頂き勉強させて頂いております。

## 山口支部　根ヶ山 祥子
（昭和61年／大被卒）

山口支部では10月13日か14日に、2年に一度の支部総会を開く予定にしています。平素、なかなかお会いできない会員の方々と近況報告などしながら、実り多い時間を過ごしたいと考えています。案内状が届きましたら、どうぞお誘い合わせの上、多数御参加ください。お待ちしております。

## 愛媛支部　城徳 かをる
（昭和41年／短生卒）

平成30年7月の西日本豪雨災害時には、理事長からすぐにお見舞いの電話を戴き有難うございました。

また、実践桜会、全国支部会員の皆様、実践家政科会員様、愛媛支部へ災害のお見舞金をいただきまして、誠に有難うございました。

大勢の皆様の温かい、お心遣いに感謝いたします。

言葉もないほど想像を超える、生まれて初めての大きな被害でした。世界的な異常気象とはいえ、水の怖さを知りました。報道のように少しずつ復興にむかって進んでいますが、遅々としております。

平成30年愛媛支部総会は、11月に松山市で開催いたしました。

7月の西日本豪雨災害の状況を話しあいましたが、報道の中でしか知りえない事もあり、全国の災害を受けられた皆様の大変さを実感いたしました。

今年度は、2019年10月27日（日）松山市で支部総会を開催いたします。

## 高知支部　青木 京子
（昭和49年／大国卒）

今年は6月1日（土）にグランディール高知駅前店で定例会をしました。だいぶおなじみになったメンバーで話も弾み、桜会のバザーに出す品物の相談や来年の定例会の相談をしたり、実践桜会から送られてきていた情報誌などを見ながら母校の現状をあれこれ話し合いました。今年の定時総会にはよんどころない事情で出席できなかったので来年は是非出席をと話し合いました。

なんと、話に夢中になっているうちに急ぐ方が帰られて、写真を撮り損ないました。

## 福岡支部　玉井 由起子
（平成3年／院被修卒）

福岡支部は「日本の伝統文化に触れる」をテーマに、博多の文化や歴史に関する研修会を開催しております。

昨年度は、博多祇園山笠の山台に長年携わってこられた（株）栄進建設の稲舛社長から博多祇園山笠についてご講演頂きました。

本年度は、11月23日（祝・土）に総会・研修会を開催します。今回は、国際的博多織ブランド「HAKATA　JAPAN」代表取締役・鴛海伸夫氏を講師にお迎えし、博多織についてお話を伺います。詳細につきましては、支部会員のみなさまには、あらためてご案内させていただきます。多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

## 熊本支部　瀬口 敬代
（昭和59年／短英卒）

11月1日（金）に、総会予定です。

NHK大河ドラマ「いだてん」、最低視聴率を更新しておりますが、地元熊本では大変な盛り上がりをみせています。

そこで、今年は「いだてん」の主人公　金栗四三の生家を見学に行く予定としております。周辺にある酒蔵などにも立ち寄り、親睦を深めたいと思っております。

## 沖縄支部　島袋 節子
（昭和41年／短生卒）

令和元年度の沖縄支部総会は6月30日（日）例年のそれとは趣を異にし、実践女子大学・短期大学の城島学長及び実践桜会本部理事の方々10名も同席しての初の開催となりました。鈴掛理事長がいわゆる「出前定時総会」を実現して下さったのです。

比較的、梅雨空の多い沖縄において記録にも残る今年の梅雨でしたが、その当日には梅雨明け宣言がなされるなど3泊4日の滞在中も良いお天気に恵まれたのでした。城島学長曰く「日頃の皆さんの行いがよろしかったからでしょう」とのお言葉をいただきました!

会食後校歌斉唱、昨年亡くなられた前支部長への黙祷の後、沖縄支部総会・実践桜会本部から各部常任理事による報告、そして城島学長による学園の現状報告があり、直接伺うことのできない貴重な体験ができ、杖をついて遠方よりバスを乗り継いで参加した宮城さんはじめ支部会員一同感無量な1日でした。

企画・実施をして下さった鈴掛理事長に感謝申し上げます。

## 英国支部　松嶋 みどり
（昭和49年／大被卒）

2018年9月8日には、6月22日にオープンしたジャパン・ハウスに行きました。ジャパン・ハウスは、戦略的対外発信の強化に向けた取組の一環として、外務省が世界3都市（サンパウロ、ロサンゼルス、ロンドン）に設置した対外発信拠点です。ケンジントン・ハイ・ストリートに面した入口付近にある、日本茶やコーヒーが楽しめるカフェの奥に広がるのが、物販スペース。新潟県燕三条の職人の手による銅製のヤカン、伝統的なホウキや和紙、陶磁器、文房具やハイテク商品なども並びます。オープンした際には、英王室のウィリアム王子も訪れ、2階のレストランでお寿司を召し上がったとか。地階のギャラリーでは開館記念行事『燕三条―金属の進化と分化』展が行われていました。上質な時間を過ごさせていただきました。

地域交流レポート

# 沖縄支部訪問
## ～学長と共に、支部総会に出席して～

総会出席者（前列左より）
- ●宮城　美恵子　（昭和35年／短国卒）
- ●早瀬　絹江　（昭和34年／大食卒）
- ●大湾　節子　（昭和37年／大食卒）
- ●島袋　節子　（昭和41年／短生卒）
- 城島　栄一郎　（大学・短期大学部学長）
- 鈴掛　まゆみ　（昭和48年／大英卒）
- 古藤　黎子　（昭和37年／高校卒）
- 御園　整子　（昭和39年／短英卒）

（中列左より）
- ●平良　郁子　（昭和43年／短被卒）
- ●花城　洋子　（昭和37年／大被卒）
- ●宜野座　久美子（昭和44年／大食卒）
- 片山　久子　（昭和50年／短国卒）
- 髙橋　泰子　（昭和48年／大被卒）
- 新井　佐知子　（昭和52年／大英卒）
- 山中　託子　（昭和53年／大英卒）

（後列左より）
- ●湖城　文子　（昭和34年／短被卒）
- ●上原　庸子　（昭和38年／大国卒）
- ●山城　幸子　（昭和36年／短英卒）
- 福田　壽美子　（昭和45年／短被卒）
- 藤本　美津子　（昭和43年／短英卒）
- 鈴木　真知子　（昭和51年／大被卒）

今年は、毎年熱心に定時総会にもご出席くださる沖縄支部長の島袋さんにお声がけしたところ、ご快諾いただき、沖縄支部の総会に参加することになりました。学園より城島栄一郎学長も出席され、沖縄支部の方々にもたいへん喜んでいただきました。島袋支部長が相談役上原さんと共に那覇空港で出迎えてくださったお心遣いに感謝です。

令和元年6月30日（日）、会場は那覇のホテル。桜会の鈴掛理事長は、今年学園創立120周年記念の各行事が行われたことを、学園創立70周年の節目の年に入学したお話に絡めて感慨深く報告いたしました。学園よりの記念ポーチも持参しました。桜会各部常任理事からも事業報告があり、さらに城島学長からは現在の学園の状況や取り組みなどについてのご説明がありました。島袋支部長には「学園関係者から直接お話が聞けるのは貴重なこと」と言っていただけました。

支部の皆さまのお話も伺えました。上原さん「当時、大学に持参したパスポートには『留学』と記されていました。お給料をドル建てで頂いていた時代です。」、宜野座さん「短大卒でしたが、大学に編入いたしました。」、宮城さんはつえをついてのご出席「前支部長與崎さんと同じ糸満出身です。」、湖城さん「舞台衣装を手掛けています。琉装（りゅうそう…沖縄の伝統的衣装）です。」、花城さん「初上京の時は驚く事ばかりでした。名護出身です、今日は楽しみにして来ました。」、山城さん「石垣島出身です。弟が継いだ実家は酒造です。」と泡盛の手土産持参でした。平良さん「福島育ちです。沖縄で40年過ごしました。」、美味しい手作りのアガラサー（黒糖蒸しパン）ご持参くださった大湾さん「嘉手納出身です。他所の短大から実践の四年制に編入しました。」、早瀬さん「中頭郡（現うるま市）出身です。先生をしていた先輩に実践を勧められました。文学を勉強したかったです。」新聞社にお勤めだったそうです。

なんと最後には、総出で沖縄の唄をご披露くださいました。

沖縄とひとくちに言っても、数ある島を含め南北にかなり距離もあります。各地からお集りいただいた皆さま、横のつながりを大切にする沖縄ならではの楽しい集いをありがとうございました。

卒業生の向田邦子さんの著書「海苔と卵と朝めし」の中に『沖縄胃袋旅行』という章があり、数々の沖縄の食べ物紹介のほかに、お父様の沖縄土産で特に印象深かった『きっぱん』というお菓子を捜すくだりがあります。果物の砂糖漬けは当時でも高価だったらしく、ようやく捜しあてたきっぱんは、沖縄旅行最高のデザートになったと評しています。私たちも沖縄支部の皆さんのおかげで、味わうことが出来ました。

懇親会

### ■沖縄を訪問するということ

沖縄に到着した日には、対馬丸記念館を訪れました。1400名以上を乗せた本土への疎開船が撃沈されたのは終戦一年前の8月。記念館は二階から入り、あたかも船底に降りていくかのようになっていて、集団疎開の学童達が過ごした船内の復元もあり、わずかな生存者の貴重な証言の展示もありました。

帰京する日は、夕方のフライトまでの時間、ひめゆりの塔を訪れ、桜会の年長者二名が代表して献花致しました。側には現地でガマと呼ばれる洞窟の入口があり、正にこの奥に外科病棟が置かれたと説明を受けました。

資料館によれば部隊を構成した師範学校と第一校女には校風というか気質の違いもあったなどと、当時の女学生の生活の息づかいを身近に感じました。写真の、昔の実践のセーラー服にも似た制服は、やがて全国統一のへちま襟になり、もんぺ姿へと変わっていったそうです。

摩文仁（まぶに）の丘の平和記念公園に1995年に建てられた「平和の礎（いしじ…沖縄方言）」と資料館にも訪れました。メディアでは6月の慰霊祭が報道されたばかりでした。 本土からは遠い島との印象を持たれがちですが、沖縄戦には全国各地の部隊が入りました。この地の慰霊碑には、内外を問わず沖縄戦の戦没者全ての名が刻まれ、平和への祈りとされています。 沖縄の方々の碑の○○の夫とか○○の五男などの表記に、当時の状況がしのばれました。

各県の碑を見ていくとその地に多い名前もみてとれます。唯一の地上戦があった沖縄は決して遠い場所の話では無いのです。

海岸での語り部の映像では、海にはそれこそ船がいっぱいだったと語られていましたが、梅雨が明けたばかりの私たちが訪れた日、青空の下に広がる海原には船影ひとつ見あたりませんでした。

学びと祈りの訪問が、平和へのいしずえになることを、心より願います。

城島学長

摩文仁

首里城

## 実践ときわ会
会長：古藤 黎子

本年度は、5月23日渡辺美佐子さんの「朗読会」を行いました。今回は、向田邦子さんの「かわうそ」と、渡辺さんの『りんごのほっぺ』が掲載されている高校の教科書の副読本の中から「未来を創る創造力」を朗読していただきました。

今回も沢山の皆様が渡辺さんの朗読に耳を傾け、素晴らしいひと時を過ごしました。

また、4月25日、5月30日、6月20日の3回、初風緑さんの「ストレッチ」を行いました。6月のストレッチでは、脳トレもあり、大変有意義なひと時でした。

ときわ会は、幹事の高年齢化に伴い、一時休会をする予定です。本年度末までは活動を続けますのでよろしくお願い致します。皆様とともに桜会でご一緒できたことを、本当に感謝申し上げます。桜会会員としての活動は、従来通りですので、今後ともよろしくお付き合いの程お願い申し上げます。

（ことう　れいこ）

## 実践被服 生活環境科会
科会長：松岡 久美子

令和元年5月1日、「実践被服 生活環境科会」がスタートしました。大学・短大の改組により見えにくくなった被服系卒業生のたて糸は生活環境系卒業生も含めて太く強くなりました。実践桜会の協力団体としても一本の柱になりました。なよたけ情報版第25号をお読みの生活環境学科卒業生の皆様、ご入会をお誘い致します。「卒業学科を通じて先輩・後輩と繋がる」、母校を実感できる繋がりと私は実感しています。ご入会は随時お受け致します

ご存知ですか？「日野近辺は昔、桑畑が多かった」こと。それで？どうなった？知りません。学びましょう。平成27年から「絹」に係る見学、学びをしています。今年は「秩父銘仙館」を見学します。「銘仙」とは何か学びましょう。今後、生活環境に係る学びも積極的に科会活動に取り入れて行きたいと考えています。今年の3事業は以下の通りです。楽しさの中にも学びと体験、技術、知識の集積を考えています。毎回、他科会の皆様に多数ご参加頂いていること、誌上を借りてお礼申し上げます。

（まつおか　くみこ）

年間行事

■総会・「実践被服 生活環境科会」披露パーティー
　日　時：4月20日（土）12:00～
　会　場：日本青年館ホテル
■鑑賞会：〈歌舞伎鑑賞教室とアフタヌーンティー〉
　日　時：6月18日（火）
　場　所：国立劇場　グランドアーク半蔵門
■講習会：〈日本刺繍のブローチ製作〉
　日　時：9月7日(土)11：00 ～15:30
　会　場：実践桜会会館
　今まで講習したことのない技法です。
■見学会：〈秩父銘仙館・秩父神社等見学〉
　日　時：10月19日（土）
　集　合：池袋駅改札口9時10分集合
　　または西武秩父駅改札口
　参加費：A　6,500円　レッドアロー号乗車券付き
　　B　3,500円　乗車券なし
　移動はタクシーを利用します。
■会報誌発行
　・歌ごろもニュースNo.23　6月初旬発行
　・歌ごろも28号　12月初旬発行
■ときわ祭桜会バザー協力品製作
　毎年手作り品を製作、桜会に寄贈しています。
■同好会「着物を考える会」、活動中です。
●連絡先：TEL＆FAX　03-3721-9378
　松岡久美子

## 実践家政科会
科会長：熊切 冨子

家政科会総会には学園理事長山本先生、学長城島先生、桜会理事長鈴掛様にご出席戴き、学園の歴史の中に於ける生き方をお聴き致しました。

家政科会後期活動は、学生さん助手さんもご参加お願いしましてご一緒に勉強してまいります。(くまきり とみこ)

■8月25日（日）
　ロステリー レカンに於いて料理講習会（学生さん助手さん共）
■9月21日・22日（土・日）
　桜会バザーに参加
■9月25日（水）
　作業用エプロンを縫製　社会福祉法人大泉旭出学園に寄贈
■12月8日（日）
　観劇会・三越劇場昼の部（泰山木の木の下で）日色ともゑ・桜井明美・塩田泰久
■12月18日（水）
　歳末助け合いに「1円募金」より寄附キリスト教海外協力会に古切手寄贈
■令和2年1月22日（水）
　新年会（正午より）ハイアットリージェンシー東京
　(楽しい福引を致します)

何卒大勢の皆様の御参加をお待ち致します。

## 実践国文科会
科会長：若松 幸子

実践女子学園が創立120周年を迎えた本年、国文学科も創設100周年となりました。100年という大きな節目を祝し、実践国文科会では10月6日（日）に実践女子大学国文学科・短期大学部日本語コミュニケーション学科、一般社団法人教育文化振興実践桜会後援で「国文学科創設100周年記念特別講演会」を共催いたします。会員に限らずどなたでもご参加できますので、心よりお待ちいたしております。　（わかまつ　さちこ）

〈令和元年度前半行事報告〉

■4月20日（土）　総会　開催
　（於：実践桜会会館）
　総会終了後、記念講演会として実践女子大学文芸資料研究所教授　上野英子博士の「さまざまな源氏物語」を催しました。
　源氏物語の成り立ちやその後の伝本や梗概書から源氏物語の様々な時代との関わりを読み解くという非常に興味ある講演が行われました。
■6月25日　能・狂言鑑賞会
　国立能楽堂にて「船弁慶」を鑑賞
■9月9日　会報誌「りんどう44号」発行

〈令和元年度後半行事予定〉

■10月6日（日）13時～15時30分
　国立文学科創設100周年記念特別講演会：「日本人なのに日本語がわからない、日本人だから日本語がわからない」
　講演者：実践女子大学国文学科教授
　　山内博之氏
　　同大学国文学科准教授
　　ルカーシュ・ブルナ氏
　特別ゲスト：古今亭　文菊　師匠
　会　場：渋谷キャンパス創立120周年記念館403講義室
　懇親会：16時～　渋谷キャンパス9階カフェテリアにて
■11月23日（土）　一葉祭
　於：東京都台東区立「一葉記念館」
■令和2年1月26日（日）新年会
■令和2年3月　能・狂言鑑賞会
　国立能楽堂
　※なお、上記詳細については「りんどう」または実践桜会ホームページに掲載いたします。

連絡先：実践桜会　実践国文科会

## 実践英文科会
科会長：山内 典子

6月9日（日）第43回総会が開催されました。今年度の事業計画などが承認され、新年度がスタートしました。総会後の講演会は、実践女子大学文学部英文学科主任教授の佐々木真理先生に、“他者との邂逅―ウォートンからル・グィンまで”と題して講演していただきました。他科会の方も加わり、学生時代に戻りました。

また、今年度の秋の見学会は、久しぶりにバスを使わずにという形を計画しています。皆さんの参加をお待ちしています。　（やまうち　のりこ）

☆会報誌について

会報誌「英文科会だより」は年一回9月に発行しています。

講演会の様子、見学会や新年会の様子などを情報としてお送りしています。会員の親睦を図るとともに、会員の輪の広がりに繋がればと思っています。

■年間行事
☆会報誌：「英文科会だより2019」9月発行
☆ときわ祭バザーに協力
　日　時：9月21日（土）、22日（日）
☆見学会
　秋の見学会：白金台の庭園美術館・自然教育園
　　昼食は八芳園
　日　時：11月12日（火）
☆新年会：令和2年1月26日（日）
　会　場：東京ステーションホテル、フランス料理“アトリウム”
☆常設勉強会：於実践桜会会館
　輪読会A：第2・第4金曜日
　　10：30～12：30
　輪読会B：第1・第3金曜日
　　10：30～12：30

連絡先：TEL＆FAX　045-862-3744
　山内典子

## 実践生活文化科会
科会長：北村 はるか

生活文化科会を設立後、実践桜会、各科会、各支部の皆様よりご支援を賜りまして、心より御礼申し上げます。

昨年度末には、科会誌第3号を発行いたしました。昨年度に開催いたしました「松田義幸先生を囲む会」の様子をご報告しております。松田義幸先生は平成20年度に実践女子大学を退職され、その後尚美学園大学学長、尚美学園理事長を兼任されるなど、多方面でご活躍です。ご講演では「人生100年88万時間の人間化～下田歌子先生の建学の精神と生活文化学科の成立～」と題し、紫式部「源氏物語」やダンテ「神曲」などを通し、様々なお話を聞かせていただきました。大学時代に戻ったような感覚と共に、松田義幸先生のお話と共に、先輩や後輩のお話をお伺い出来たことは、実践女子大学同窓生として良い刺激をいただきました。

今後も卒業生の皆様にご参加いただける催し物の企画を予定しております。お子様連れのご参加も大歓迎でございますので、お気軽にご参加ください。

ご卒業後、ご連絡先が不明な卒業生の皆様が多数いらっしゃいます。ぜひ一人でも多くの方に、科会のお知らせや会報誌などをお届けしたいと考えております。Facebookにも情報を載せております。会報誌や同窓会、イベントのご案内が届かない卒業生の皆様、ぜひご友人同士をお声がけいただき、生活文化科会までお問合せください。

問合先：jj.seibun.og@gmail.com
Facebook：https://m.facebook.com/profile.php?id=100009369324879

（きたむら　はるか）

## 令和元年度
# 実践桜会奨学生

令和元年度選考委員会（選考委員は各役員選出母体から推薦された5名と実践桜会理事長、常任理事5名の計11名で構成）を3月に発足、ホームページでの一般公募と、昨年応募のあった大学にも募集をいたしました。今年度の応募者は留学生24名（内訳：17大学院・7大学・5か国）でした。第一次書類選考と第二次面接選考を行い、本年度の実践桜会**国際交流奨学生**は大学院生3名に決定しました。

### ■趙 潤　チョウ　ジュン

中国

筑波大学大学院
人間総合科学研究科　世界遺産専攻
博士前期課程2年

日本は、1950年に「文化財保護法」に法律上保護の対象として無形文化財が加え、他国にも先駆けて多くの無形遺産を保護してきました。私は日本の無形遺産保存の手法を勉強し、母国中国での無形遺産の保存に取り組むために、筑波大学大学院世界遺産専攻に留学しました。

現在研究しているのは、「中国大陸、台湾両岸における無形文化遺産崑曲の継承と社会的影響による変化の研究」であります。修士号取得後、博士課程に進学を目指しています。卒業後、帰国して大学の無形文化遺産保護の教員と関連組織のメンバーになり、研究と実践を両立したいです。更に、無形文化遺産を通し、中国大陸と台湾、ひいてはアジア諸国の文化交流に寄与したいと思います。

### ■金 琳　キン　リン

中国

東京外国語大学大学院　総合国際学研究科
国際日本専攻　国際日本コース
博士前期課程2年

私は主に現代日本語文法を研究しております。大学時代アルバイトで日本語を教えていた時、自分自身が学んでいた際に気づいていなかったことや文法書に書いてある文法規則でうまく説明できない現象に気づき、やはりもっと勉強したい気持ちとなり、日本へ留学することを決めました。いま東京外国語大学で国語学者の先生のご指導を受けて、日本語に関する様々な諸相に触れることができ、充実した生活を過ごしています。これからも一人前の研究者を目指して頑張ります。

### ■宋 鷺鷺　ソウ　ロロ

中国

筑波大学大学院
人間総合科学研究科　障害科学専攻
博士前期課程1年

現在中国のおける自閉症の現状について研究しております。近年、中国では自閉症児への教育が注目されています。自閉症児者の増加につれて、この10年間に、自閉症に関する研究も多く見られるようになりました。私は中国における自閉症研究の動向を整理するとともに、義務教育段階の学校における自閉症教育が、これらの研究の成果を踏まえた有効な教育的支援となっているか否か、その現状と課題を明らかにし、中国の学校の実情に応じた、自閉症教育支援体制を考える上での示唆を得ることができると考えています。より多くの自閉症児に支援することを目指して、頑張っていきたいと思います。

創立者下田歌子先生は、女子教育を通して近代女性の地位向上に尽力するとともに、歌人、国文学者、家政学者、社会事業家としても業績を残しています。1901年から清国の留学生を受け入れ、1905年には後に革命烈士として名を遺した秋瑾女子も留学しています。

「実践桜会国際交流基金」は、当会会員の西山美穂子（旧姓高田・昭和3年実践女学校専門学部英文科卒）から「第二次大戦の体験を踏まえ、東アジアから日本に留学を希望する女性のために役立ててほしい」という強い要望を添えて遺贈された基金に基づき、1994年に創設されました。

2004年からは当会会員の成田迪子（昭和28年実践女子大学英文学科卒実践女子大学名誉教授）から遺贈された基金を合わせて運営され、今年で24回目となります。

**留学生との交流会を令和元年10月5日（土）と令和2年3月7日（土）の2回開催いたします。参加ご希望の方は実践桜会にお申込みください。**

**「実践桜会奨学金」**は実践女子学園の公募者から、本年度は大学生2名と高校生1名に決定しました。

### ■日比野 小都　ヒビノ　コト

実践女子大学　文学部
美学美術史学科4年

私は美学美術史学科で日本近代美術史を専攻し、日本画家の川合玉堂と皇室との関わりを中心に学んでいます。実践女子大学の美学美術史学科には、日本、西洋、東洋など様々な分野の美術史や美学・実技の専門の先生方がいらっしゃる為、美術を幅広く学べる環境であった事から、この大学を選びました。現在、自分の専門分野を研究する中でも、様々な分野の美術を学ぶ事の重要性を実感しています。

将来は、美術史についてもっと深く学び、美術や文化、芸術に携わる仕事を行なっていきたいと考えています。

### ■服部 珠央　ハットリ　タマオ

実践女子大学　文学部
国文学科 近代現代文学専攻4年

私は現在、国文学科で近代現代文学を専攻しており、国語科の教員になるために日々、勉学に勤しんでいます。そのため、私の常日頃の関心は、日本の文学と国語科教育にあります。現在は学習指導要領が改訂され、高校の国語科で、生徒が近代文学に触れる機会が減ることが危惧されています。そのような中で、国文学科の一学生として、また国語科の教員を目指す者として、文学を通して教育することの意義、文学教育とは何なのか、について研究しています。今後も、自分の専門科目や研究と真摯に向き合っていきたいと考えています。



# 下田歌子先生法要
# 香雪忌
## ～恵那市岩村町～

令和元年5月6日（月）の下田歌子先生法要は、翌日の記念式典を控え、桜会からも22名が参加しました。恵那市岩村の隆崇院（りゅうそういん）にて、実践女子学園山本新理事長より学園近況等の奉報（ほうほう）がありました。

続いてバスにて移動し、墓所に向かいました。入り口では、白井喜美子さん（昭和11年専門英文卒）寄贈の碑が出迎えてくれます。

平尾家墓所近くの、白井さんの墓所（平成24年99歳にて死去）にも手を合わせることができました。

奉報

白井喜美子氏寄贈の碑

下田家墓所

平尾家墓所

# 学園創立120周年
# 記念式典・懇親会
## ～学園創立120周年記念碑の除幕～

記念式典は、令和元年5月7日（火）学祖の綾錦顕彰碑前にて学園関係者・実践桜会・恵那市関係者・岩邑うた子会の120名以上の出席のもと、実践女子学園の山本理事長の挨拶に始まり、恵那市市長の来賓祝辞の後、山本理事長・城島学長・石野中高校長・実践桜会鈴掛理事長による、120周年記念碑の除幕が行われました。

懇親会は、地元を交えた交流の宴となりました。鈴掛理事長は祝辞で、下田先生ご自身が除幕式に臨まれた場所での新たな記念碑の除幕に立ち会えた感慨を述べ、祝宴は賑やかに始まりました。

華やかな美濃国女太鼓・岩邑中学校合唱部・岐阜県立恵那南高等学校吹奏楽部のご協力で盛り上がり、最後に校歌斉唱で幕を閉じました。

## 学園創立120周年記念祝賀会

～渋谷「創立120周年記念館」9階カフェテリア～

令和元年5月11日（土）　15時より、渋谷の創立120周年記念館9階カフェテリアにて開催され、実践桜会からも106名が参加、来賓及び学園関係者など総勢400名近くが集いました。

卒業生代表として日本銀行政策委員会審議委員の政井貴子さん（昭和63年大英卒）が祝辞を述べ、祝宴には実践女子学園高等学校合唱部や大学・短期大学部 日本舞踊研究部が花を添えました。

## ホームカミングデー

5月11日（土）の10時半より、創立120周年記念館1階プラザにて、実践女子学園山本理事長、実践桜会鈴掛理事長の挨拶、城島学長の乾杯により立食形式で歓談しました。若い参加者も多く、恒例行事として、多くの卒業生の集いの場となっています。年一回の開催日は毎年お知らせしますので、ぜひご参加ください。

## 実践女子学園フェスティバル

～J-FES～

5月11日（土）、12日（日）の二日間に渡り、渋谷中高と創立120周年記念館にて開催。

華やかな野外ステージでは、卒業生の初風緑さんのミニ・ショーと音楽劇「コトホギ」からの合唱部によるアレンジ校歌が感動的でした。地元商店などによる模擬店やテントを連ねての各コーナーは大盛況。実践桜会もひとつのテントにて岩村の物産や卒業生ゆかりのお店のお菓子を販売しました。

# 本部だより

## 学祖祭

令和元年10月8日（火）
下田歌子先生のご命日に開催いたします。実践桜会会館に祭壇を設置いたしますので、気軽にお参りにお越しください。実践桜会が所蔵する下田先生ゆかりの品も展示する予定です。

## J-FES〈実践女子学園フェスティバル〉

5月11日、12日の二日間、校庭にずらりと並んだテントで、桜会バザーでもおなじみの品々を販売しました。下田先生生誕地の岩村から松浦軒の銘菓や岩村醸造の甘酒、生産農家直送の干し椎茸、そして日本各地の卒業生ゆかりの店舗から「もみじ饅頭」「いもくり佐太郎」「支倉焼」を販売しました。（株）ブルボン製菓よりはお菓子をご寄贈いただきました。なじみの品を求める同窓生との会話も弾むひとときでした。

## 実践桜会バザー開催報告

日　時：令和元年9月21日（土）　22日（日）
　　9：30～15：30
会　場：実践女子学園中学校高等学校内
中学校高等学校のときわ祭の折に場所を提供していただき開催していますが、今年度は中高の行事予定変更により、1ケ月ほど早まります。
全国支部からの物産品、科会・会員の皆様からの手作り品や寄贈品、学祖下田歌子先生生誕の地「恵那市岩村」の特産品や卒業生の方々のお店や会社の品々を取りそろえております。皆様からのご厚情によるバザー収益は今後、桜会の運営に有効に活用させて頂きます。
尚、バザー寄贈品は随時受け付けております。桜会館までお持ちいただくか、宅配便等にてお送りください。ご協力宜しくお願いいたします。

## 実践桜会　親睦会

出 発 日 ：令和元年10月29日（火）
集合場所：天王洲アイル駅
集合時間：10時30分
大型クルーズ船で東京湾内の2020オリンピック・パラリンピック会場の建設現場を洋上から視察、ウォーターフロントの歴史、隅田川にかかる重要文化財の桟橋等を説明を聞きながら、ゆったり、のんびり巡ります。その後、乗船場直結のマリンレストランでランチと楽しいおしゃべりのひとときをお楽しみいただきます。

## 初春歌舞伎観劇会

日　時：令和2年1月12日（日）
会　場：国立劇場大劇場
毎年沢山の観劇をありがとうございます。今年もご家族ご友人をお誘い合わせてご参加ください。令和最初の初春歌舞伎です。尾上菊五郎、菊之助さんの親子2代に新たに丑之助を襲名したお孫さんを加えた3世代の舞台をお楽しみいただける事と思います。チケット代1万1千円（含む桜会特製の昼食、イヤホンガイド付）
申込み締め切り11月27日（水）
お問い合わせ、お申し込みは実践桜会事務局へ
TEL：03-3407-7459　FAX：03-3499-0835

## 会費納入のお願い

一般社団法人教育文化振興実践桜会の運営・活動は皆様の会費によって支えられています。
会費未納の方は、振込用紙にてゆうちょ銀行および実践桜会本部窓口でご納入お願いいたします。
また、下記の銀行振り込みもご利用いただけます。
**年会費2,000円**
みずほ銀行　渋谷中央支店（162）
口座番号　　普通　1189795
「一般社団法人教育文化振興実践桜会」
なお、ゆうちょ振込用紙がない場合は、実践桜会会館までご連絡ください。
TEL：03-3407-7459　　FAX：03-3499-0835
会費納入状況のお問い合わせもお受けいたします。
＊いずれの振込にも会員番号のご記入をお願いいたします。

## 『実践桜会ホームページのご案内』

QRコードを携帯などで読み取ってください。
桜会ホームページをご覧いただけます。



# 学園だより

## 向田邦子文庫展示室

●向田邦子の本棚
期　　間：2019年7月29日（月）～11月23日（土）
開室時間：9：00～17：00
展示内容：向田邦子が本を読むときの癖や、その時々の興味ある分野を集めた蔵書構成等から、読書への姿勢をうかがう。
●向田邦子と森繁久彌
期　　間：2019年12月2日（月）～2020年3月19日（木）
開室時間：9：00～17：00
展示内容：向田邦子の出世作として名高い『森繁の重役読本』や『七人の孫』をとおして、脚本家初期の作風や、作品を一緒に育てた二人の関係性を紹介する。

＊休室日：日曜日、祝日、大学の休校日（夏期一斉休校日、年末年始休校日）
詳細はホームページ（http://jissen.ac.jp/library/）で確認をしてください。

## 香雪記念資料館

展覧会「女性と美術―創作と教育」
（有元容子・織田涼子作品展）
会　　期：2019年10月7日（月）～11月2日（土）
休 館 日：日曜日、祝日、10月22日（火）
（ただし10月13日、14日、27日は開館）
開館時間：10：00～17：00
会　　場：実践女子大学（渋谷キャンパス）
香雪記念資料館　企画展示室1・2
主　　催：実践女子大学公開講座委員会
協　　力：実践女子大学　美学美術史学科・博物館学課程、香雪記念資料館

関連事業　講演会／対談
日　　時：2019年10月12日（土）
14：00～16：00（受付開始　13：30）
会　　場：実践女子大学（渋谷キャンパス）
創立120周年記念館　804教室
講　　演：「有元容子　制作の周辺」
有元容子氏（実践女子大学美学美術史学科元教授、日本画家）
対　　談：有元容子氏×織田涼子氏（実践女子大学美学美術史学科准教授）

## 実践女子学園　創立120周年記念公開講座

～女性が未来を創る～
「実践女子大学における女子教育の過去・現在から未来へ」

〈渋谷キャンパス〉
●文学部美学美術史学科：
女性と美術―創作と教育　（仮称）
講 演 会：2019年10月12日（土）＊常磐祭期間中
展　　示：2019年10月7日（月）～11月2日（土）
展示場所：実践女子大学香雪記念資料館
●文学部英文学科：
「動く」女性―日英米の女子教育と服装改革の歴史
2019年10月13日（日）　＊常磐祭期間中
●文学部国文学科：
古典作品享受の過去・現在・未来（仮称）
2019年12月14日（土）

〈日野キャンパス〉
●生活科学部：
「これからの暮らし」の創造
実践女子大学における家政学の創生とこれからの生活科学
2019年11月2日（土）

## 創立120周年記念講演・シンポジウム

テ ー マ：卒業生が語る～実践女子学園の教育と未来～
会　　場：実践女子大学（渋谷キャンパス）
創立120周年記念館　403教室
対　　象：本学学生、保護者、卒業生、教職員、企業・地域関係者、一般参加者（申込不要）
開催日時：2019年11月24日（日）　13:00～15:30
●記念講演「社会で輝く女性」　13:00～14:00
●記念シンポジウム　14:15～15:30
詳細は学園ホームページをご覧ください。

### 下田歌子研究所新刊紹介

**新編下田歌子著作集「結婚要訣」**
**（新編下田歌子著作集の4冊目となる出版）**
**―西洋との比較をまじえた結婚の歴史や現在の実用性にもかなう話題を豊富に伝える大正期に書かれた「結婚大全」―**

監　修：実践女子大学下田歌子記念女性総合研究所
著　者：下田歌子
校　注：久保貴子（実践女子大学下田歌子記念女性総合研究所）
出版社：株式会社　三元社

## 【総務部】

1） 定時総会開催（5月20日）
2） 理事会開催（13回）、常任理事会（12回）開催
3） 秋季運営委員会開催（9月29日）
4） 学祖祭（護国寺墓参、実践桜会会館に仏式祭壇設置）、お供え香（9時～実香会）（10月6日）
5） 入学、卒業祝い記念品の贈呈（4月、3月）
6） 支部、系列科会への助成事業（45団体）
7） 祝・成人の会（実践女子学園／実践桜会共催　ときわ会協賛）（1月14日）
8） その他学園の懇親会等の行事に参加
9） コンピューターによる名簿管理
10） 会員サービス事業の推進(愛知･三重支部との懇談会)(9月14日)
11） 実践桜会会館・日野分室（本館541号室）の管理

## 【事業部】

1） 母校教育助成事業（助成金・学園助成）
2） 大学・短期大学部「常磐祭」に協賛金贈呈・桜会賞授与
3） 社会活動助成事業（18団体）
4） 母校奨学基金事業（高校生1名　大学生1名　各30万円給付）
5） 国際交流基金事業（中国1名　韓国1名　各48万円給付）
6） 生涯学習（図書・教室等の管理）
　　教室：囲碁教室
　　図書：貸出・購入・整備
7） 結婚相談（原則 毎月 第2・第4土曜日）
8） 法律相談（原則 毎月 第2水曜日 11時～16時）
9） 会館貸室事業

## 【文化部】

1） 実践桜会バザー開催＜於：中高ときわ祭＞（10月27日、28日）
2） 初春歌舞伎観劇会開催＜於：国立劇場＞（1月13日）
3） 母校記念品販売取扱い

## 【広報部】

1）「那与竹」第81号発行（平成30年4月1日）
2）「なよたけ情報版」第24号発行（平成30年10月1日）
3） 媒体を中心とした地域レポート交流
　神奈川支部、愛知・三重支部
4） 実践桜会公式ホームページの管理・運営
5）「那与竹」第82号の編集

## 【実践キャリアネット】

1） 運営委員会開催
2） 総会・講演会（6月23日（土））
　講師：高瀬真理子氏（卒業生・実践女子学園理事・短期大学部部長）
3） 会員交流会（9月15日（土））
4） 第1回セミナー（11月17日（土））
　会場：東京消防庁「池袋防災館」
5） 第2回セミナー（2月2日（土））
　講師：リー啓子氏(リーメディカルクリニック院長)
6） 卒業生と在校生との交流会～OG懇親会～（在校生支援へ会員参加）
　2月14日（木）＜於：渋谷＞
7） 卒業生のための仕事についての何でも相談会（8月、12月は休み）

### 平成 30 年度会館利用状況

（平成 31 年 3 月 31 日現在）

| 月 | 件数 | 人数 |
|---|---|---|
| 4 | 35 | 294 |
| 5 | 31 | 288 |
| 6 | 43 | 546 |
| 7 | 30 | 285 |
| 8 | 13 | 126 |
| 9 | 41 | 404 |
| 10 | 27 | 223 |
| 11 | 40 | 384 |
| 12 | 21 | 186 |
| 1 | 27 | 239 |
| 2 | 35 | 321 |
| 3 | 25 | 557 |
| 合計 | 378 件 | 3853 名 |

【実践桜会広報誌　お詫びと訂正】
「なよたけ情報版No.24」（平成30年10月1日発行）

・P2　三行目　金子大栄　（没年　誤：1916　正：1976）
・P12　本文右列8行目　（誤：寿賀子　正：須賀子 ）
・P20　右列下より8行目
　（■10月11日（誤：（土）　正：（木））
・P23　上段記事　本文右列下より8行目
　（誤：抗議　正：講義）
・P23　下段記事　本文右列下より3行目
　（誤：平成30年　正：平成31年）
・P29　右列下段枠内最終行
　（正：下田歌子記念女性総合研究所）

以上、訂正して、お詫び申し上げます。　　実践桜会広報部





## 貸借対照表

平成31年3月31日現在

（単位：円）

| 科　　目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|---|---|---|---|
| Ⅰ資産の部 | | | |
| 1 流動資産 | 39,751,697 | 68,467,416 | △ 28,715,719 |
| 2 固定資産 | 251,923,590 | 226,194,473 | 25,729,117 |
| (1)基本財産 | 27,966,601 | 27,966,601 | 0 |
| (2)特定資産 | 87,430,000 | 58,990,000 | 28,440,000 |
| (3)その他固定資産 | 136,526,989 | 139,237,872 | △ 2,710,883 |
| 資産合計 | 291,675,287 | 294,661,889 | △ 2,986,602 |
| Ⅱ負債の部 | | | |
| 1 流動負債 | 7,106,006 | 7,990,069 | △ 884,063 |
| 2 固定負債 | 59,930,000 | 59,250,000 | 680,000 |
| 負債合計 | 67,036,006 | 67,240,069 | △ 204,063 |
| Ⅲ正味財産の部 | | | |
| 1 指定正味財産 | 85,396,601 | 86,956,601 | △ 1,560,000 |
| 2 一般正味財産 | 139,242,680 | 140,465,219 | △ 1,222,539 |
| 正味財産合計 | 224,639,281 | 227,421,820 | △ 2,782,539 |
| 負債及び正味財産合計 | 291,675,287 | 294,661,889 | △ 2,986,602 |

## 正味財産増減計算書

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年3月 31 日まで

（単位：円）

| 科　　目 | 当年度 | 前年度 | 増減額 |
|---|---|---|---|
| Ⅰ　一般正味財産増減の部 | | | |
| 1．経常増減の部 | | | |
| (1)経常収益 | 35,411,564 | 84,395,876 | △ 48,984,312 |
| (2)経常費用 | | | |
| 事業費 | 25,775,171 | 25,436,389 | 338,782 |
| 管理費 | 10,858,932 | 10,807,323 | 51,609 |
| 経常費用計 | 36,634,103 | 36,243,712 | 390,391 |
| 当期経常増減額 | △ 1,222,539 | 48,152,164 | △ 49,374,703 |
| 2．経常外増減の部 | | | |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 1,222,539 | 48,152,164 | △ 49,374,703 |
| 一般正味財産期首残高 | 140,465,219 | 92,313,055 | 48,152,164 |
| 一般正味財産期末残高 | 139,242,680 | 140,465,219 | △ 1,222,539 |
| Ⅱ　指定正味財産増減の部 | | | |
| 当期指定正味財産増減額 | △ 1,560,000 | △ 2,820,000 | 1,260,000 |
| 指定正味財産期首残高 | 86,956,601 | 89,776,601 | △ 2,820,000 |
| 指定正味財産期末残高 | 85,396,601 | 86,956,601 | △ 1,560,000 |
| Ⅲ　正味財産期末残高 | 224,639,281 | 227,421,820 | △ 2,782,539 |

# 告　知　板

## ♥結婚相談室♥

相 談 日 ：原則として毎月第2､第4土曜日・10:30～16:00
休　　室：12月第4土曜日
会　　場：実践桜会会館
入会資格：本校卒業生及び卒業生のご紹介の心身共に健康な男女
入 会 金 ：2万円、書類代：1千円
入会時に持参するもの：入会ご希望の本人直筆の履歴書
写真5枚(本人のみ､スナップ可)
☆秘密厳守で評判の良い相談室です。
☆詳細は相談日にお問い合わせください。
連 絡 先 ：TEL 03-3407-7459（実践桜会会館）

## 実践桜会囲碁教室

教室ではアマ6段の柳川さんの指導の下、卒業生と近隣の方々と和気あいあいと楽しく学んでいます。4月は、近くにある日本福祉囲碁協会との交流会を行ないました。写真に見るように､対局はちょっと緊張しましたが、交流の成果は大いにありました。今後も地域との交流ができれば幸いです。

［開室］原則として、第2　第4　月曜日　13:00～16:00
［教室の開室予定日　10月～3月］
2019年　10/7　10/21　11/11　11/25　12/9　12/23
2020年　1/20　1/27　2/10　2/17　3/9　3/23
このほか、自主学習日を設ける予定（1回500円）
［会場］実践桜会会館1階
［講師］柳川正興（アマ6段）
［会費］一回　1,000円
［連絡先］実践桜会事務　電話03-3407-7459

日本福祉囲碁協会との交流会（実践桜会会館にて）

## 実践桜会会館・貸室のご案内

明るい桜会館を、クラス会、サークル活動、各種打合せ等にお気軽にご利用ください。壁の一面が鏡のお部屋もございます。
詳細は、実践桜会事務局（TEL 03-3407-7459）へお問い合わせください。

## 秋田先生の法律相談

桜会会員の皆さまを対象に、弁護士として豊富な経験と実績をもつ秋田瑞枝氏（同窓生）による法律相談です。毎月1回、実践桜会会館で行いますので、身の回りの諸事お困りごとをお気軽にご相談ください。秘密厳守をお約束します。

［相談室］
1.月1回、第2水曜日11時～16時
2.相談時間1回30分
3.休室 祝日･8月
［会場］実践桜会会館（渋谷）
［申込方法］
1.事前に電話で予約してください（先着順）
2.関係資料などは相談時にご持参ください

プロフィール●昭和40年実践女子学園高等学校を卒業後、慶應義塾大学法学部法律学科に進学。在学中に司法試験第2次試験に合格、昭和54年港総合法律事務所（東京港区）開設、平成9年ひのき総合法律事務所開設

**［編集後記］**

●今年は、学園創立120周年記念の行事がたくさん開催され、岩村での式典、渋谷での祝賀会には桜会からも多数が出席し、またJ－FES（実践女子学園フェスティバル）には渋谷の地元のお店からの出店などがあり、華やかににぎわいました。昨今、天候が不安定ですが、五月の一連の行事は幸いお天気にも恵まれました。
それでも、今年も各地では長い梅雨など天候災害が数多くみられました。全国にわたる同窓生の皆様のご無事を祈るとともに、会報誌が無事にお手元に届きますよう願っております。多くの方々にご覧いただけるよう精進して参りますので、住所・お名前等が変わられましたら、実践桜会に是非ご一報くださいませ。（広報部一同）

【寄附者ご芳名】
次年度より、『那与竹』4月1日号に一年分を掲載させていただきます。

**＊2021年実践桜会は創立120周年を迎えます＊**

編 集・発 行：一般社団法人教育文化振興　実践桜会
編集･発行人：鈴掛まゆみ
〒150-0011 東京都渋谷区東1-1-40
TEL：03-3407-7459　FAX：03-3499-0835
URL：http://www.j-sakura.org
広報部メールアドレス：jissen-sakura-koho@dance.ocn.ne.jp
振込口座：東京00190-0-2384
転居された場合はご連絡ください。
印刷：株式会社ローヤル企画

## 会費納入のお願い

**実践桜会は皆さまの会費で運営されています。年会費2,000円の納入をよろしくお願いします。**

転居・改姓等をされた方及び会費のコンビニ入金をされる方で住所変更もある場合は、会員番号をご確認の上、実践桜会事務局（TEL:03-3407-7459、FAX:03-3499-0835）までご連絡ください。

【表紙の色】日本の伝統色より「洗朱（あらいしゅ）」

©2019　一般社団法人教育文化振興　実践桜会　無断転載禁止　Printed in Japan